



Cisco Virtual Network Management Center CLI コンフィギュレーション ガイド リリース 1.3

2012 年 1 月 27 日

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知られていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco Virtual Network Management Center CLI コンフィギュレーション ガイド リリース 1.3
© 2010-2012 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.

Copyright © 2010–2012, シスコシステムズ合同会社.

All rights reserved.



CONTENTS

はじめに	ix
対象読者	ix
マニュアルの構成	ix
表記法	x
関連資料	xi
マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート	xii

CHAPTER 1

概要	1-1
VNMC について	1-1
VNMC	1-1
システム要件	1-2
VNMC CLI に関する情報	1-2
VNMC CLI の概要	1-2
VNMC CLI の基本コマンド	1-5

CHAPTER 2

VNMC の管理	2-1
VNMC の再起動	2-1
システムの更新	2-2
ホスト名の設定	2-3
VNMC の復元	2-4
サービスの使用	2-5
データベースの再初期化	2-6
サービスの再起動	2-6
サービスの起動	2-7
サービスのステータスの表示	2-8
サービスの停止	2-9
ファイルおよびアプリケーションの管理	2-10
ファイルのコピー	2-10
ファイルの削除	2-11
ブートフラッシュおよび揮発性ディレクトリの管理	2-12
セキュリティの管理	2-14
共有シークレット パスワードの変更	2-14
ネットワーク インターフェイスの管理	2-15

- IP アドレスの設定 2-15
- ゲートウェイ アドレスの設定 2-16
- ネットマスクの設定 2-17
- ターミナル セッション パラメータの設定 2-18
 - ターミナルの長さの設定 2-18
 - セッション タイムアウトの設定 2-19
 - ターミナルの幅の設定 2-20
- システム情報の表示 2-20
 - プロバイダーの表示 2-21
 - CLI 情報の表示 2-22
 - クロックの表示 2-22
 - ネットワーク インターフェイスの表示 2-23
 - システム情報の表示 2-24
 - バージョン番号の表示 2-24
 - テクニカルサポート情報の表示 2-26
 - FSM の表示 2-27

CHAPTER 3

- ファイル バックアップと管理データのエクスポートおよびインポートの管理 3-1
 - Cisco VNMC ソフトウェアのバックアップ設定への復元 3-1
 - ファイル バックアップの実行 3-3
 - ファイル バックアップの作成 3-3
 - ファイル バックアップの削除 3-4
 - ファイル バックアップの表示 3-5
 - ファイル バックアップのイネーブル化 3-5
 - ファイル バックアップのディセーブル化 3-6
 - ファイル バックアップの属性の使用 3-7
 - ファイル バックアップの説明属性の設定 3-8
 - ファイル バックアップに対するパスワード属性の設定 3-9
 - ファイル バックアップに対するプロトコル属性の設定 3-10
 - ファイル バックアップのリモート ファイル属性の設定 3-10
 - ファイル バックアップに対するタイプ属性の設定 3-11
 - ファイル バックアップのユーザ属性の設定 3-12
 - 管理データのエクスポートおよびインポートの実行 3-13
 - 管理データのエクスポート サービスの作成 3-14
 - 管理データのエクスポート サービスの削除 3-15
 - 管理データのエクスポート サービスの表示 3-15
 - 管理データのエクスポート サービスのイネーブル化 3-16
 - 管理データのエクスポート サービスのディセーブル化 3-17
 - 管理データのインポート サービスの作成 3-18

管理データのインポート サービスの削除	3-19
管理データのインポート サービスの表示	3-20
管理データのインポート サービスのイネーブル化	3-21
管理データのインポート サービスのディセーブル化	3-22
管理データの属性の使用	3-23
インポートに対するアクション属性の設定	3-23
エクスポートおよびインポートに対する説明属性の設定	3-24
エクスポートおよびインポートに対するパスワード属性の設定	3-26
エクスポートおよびインポートに対するプロトコル属性の設定	3-27
エクスポートおよびインポートに対するリモート ファイル プレフィックス属性の設定	3-28
エクスポートおよびインポートに対するタイプ属性の設定	3-30
エクスポートおよびインポートに対するユーザ属性の設定	3-31

CHAPTER 4**ログ、イベントおよび障害の管理 4-1**

管理ログの使用	4-1
セキュリティ レベルおよびログ サイズの設定	4-1
管理ログ レベルのリセット	4-2
管理ログ パラメータの保存	4-3
管理ログの表示	4-4
障害の確認	4-6
監査ログの表示	4-7
イベントの表示	4-8
障害の表示	4-10

CHAPTER 5**デバイス プロファイルの管理 5-1**

DNS サーバのホスト名の作成	5-1
NTP サーバのホスト名の作成	5-3
DNS サーバのホスト名の削除	5-4
ドメイン名の作成	5-5
NTP サーバのホスト名の削除	5-7
ドメイン名の設定	5-8
デバイス プロファイルの表示	5-10
コア ファイル ポリシーの設定	5-11
障害ポリシーの設定	5-12
ログ ポリシーの設定	5-13
syslog ポリシーの設定	5-15
時間帯の設定	5-16

DNS サーバの表示 5-17
ドメイン名の表示 5-19
NTP サーバの表示 5-20

CHAPTER 6

ポリシーの管理 6-1

コア ファイル ポリシーの使用 6-1
 コア ファイル ポリシーの作成 6-1
 コア ファイル ポリシーの削除 6-2
 コア ファイル ポリシーの表示 6-4
障害ポリシーの使用 6-5
 障害ポリシーの作成 6-5
 障害ポリシーの削除 6-7
 障害ポリシーの表示 6-8
ログ ポリシーの使用 6-9
 ログ ポリシーの作成 6-9
 ログ ポリシーの削除 6-11
 ログ ポリシーの表示 6-12
syslog ポリシーの使用 6-14
 syslog ポリシーの作成 6-14
 syslog ポリシーの削除 6-15
 syslog ポリシーの表示 6-16

CHAPTER 7

コア ファイル ポリシー、障害ポリシー、ログ ポリシーの属性の設定 7-1

コア ファイル ポリシーの属性の設定 7-1
 管理状態の設定 7-2
 説明の設定 7-3
 ホスト名の設定 7-5
 パスの設定 7-6
 ポートの設定 7-8
障害ポリシーの属性の設定 7-9
 管理状態の設定 7-9
 クリア処理の設定 7-11
 説明の設定 7-12
 フラッピング間隔の設定 7-14
 保持間隔の設定 7-15
ログ ポリシーの属性の設定 7-17
 バックアップ カウントの設定 7-17
 説明の設定 7-18
 レベルの設定 7-20

サイズの設定 7-21

CHAPTER 8**syslog ポリシーの属性の設定 8-1**

syslog ポリシーへの説明の割り当て 8-1

syslog アラートの送信 8-3

コンソール属性の使用 8-4

コンソール属性の作成 8-4

コンソール属性のイネーブル化 8-6

コンソール属性のディセーブル化 8-7

コンソール属性の設定 8-9

ファイル属性の使用 8-10

ファイルの作成 8-10

ファイルのイネーブル化 8-12

ファイルのディセーブル化 8-13

ファイルの設定 8-15

モニタ属性の使用 8-16

モニタの作成 8-17

モニタのイネーブル化 8-18

モニタのディセーブル化 8-20

モニタの設定 8-21

リモート宛先属性の使用 8-23

リモート宛先の作成 8-23

リモート宛先のイネーブル化 8-24

リモート宛先のディセーブル化 8-26

リモート宛先の設定 8-27

INDEX



はじめに

Cisco Virtual Network Management Center CLI コンフィギュレーションガイドリリース 1.3には、Cisco バーチャル ネットワーク マネジメントセンター (VNMC) の設定手順が記載されています。

ここでは、次の内容について説明します。

- 「対象読者」 (P.ix)
- 「マニュアルの構成」 (P.ix)
- 「表記法」 (P.x)
- 「関連資料」 (P.xi)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.xii)

対象読者

本書は、次の経験および知識を持つネットワーク管理者を対象としています。

- VMware vCenter
- VMware vSphere
- VMware ESX および ESXi
- 仮想化の知識
- 仮想マシン



(注) VMware vNetwork 分散スイッチの知識はなくてもかまいません。

マニュアルの構成

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

章およびタイトル	説明
第 1 章「概要」	VNMC と、VNMC CLI の概要を示します。
第 2 章「VNMC の管理」	VNMC の管理手順を示します。

章およびタイトル	説明
第 3 章「ファイルバックアップと管理データのエクスポートおよびインポートの管理」	ファイルバックアップ、エクスポート、およびインポートの管理手順を示します。
第 4 章「ログ、イベントおよび障害の管理」	ログ、イベント、および障害の管理手順を示します。
第 5 章「デバイス プロファイルの管理」	デバイス プロファイルの管理手順を示します。
第 6 章「ポリシーの管理」	ポリシーの管理手順を示します。
第 7 章「コア ファイル ポリシー、障害ポリシー、ログ ポリシーの属性の設定」	コア ファイル、障害、およびログ ポリシーに対する属性の設定手順を示します。
第 8 章「syslog ポリシーの属性の設定」	コア syslog ポリシーに対する属性の設定手順を示します。

表記法

コマンドの説明では、次の表記法を使用しています。

太字	コマンドおよびキーワードは太字で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体で示しています。
{ }	波カッコの中の要素は、必須の選択要素です。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
x y z	いずれか 1 つを選択する要素は、縦線で区切って示されます。
string	引用符を付けない一組の文字。string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。

出力例では、次の表記法を使用しています。

screen フォント	デバイスが表示するターミナルセッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、太字の screen フォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の screen フォントで示しています。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。
[]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!, #	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。

このマニュアルでは、注釈および注意に次の表記法を使用しています。



(注) 「注釈」です。役立つ情報やこのマニュアルに記載されていない参照資料を紹介しています。

**注意**

「**要注意**」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

関連資料

ここでは、Cisco Virtual Network Management Center および関連製品に利用可能なマニュアルについて説明します。

この項は、次の内容で構成されています。

- 「Cisco Virtual Network Management Center に関するマニュアル」 (P.xi)
- 「Cisco Virtual Security Gateway に関するマニュアル」 (P.xi)
- 「Cisco Nexus 1000V シリーズ スイッチのマニュアル」 (P.xii)

Cisco Virtual Network Management Center に関するマニュアル

以下の Cisco Virtual Network Management Center に関するマニュアルは、Cisco.com の次の URL で入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps11213/tsd_products_support_series_home.html

- 『Release Notes for Cisco Virtual Network Management Center, Release 1.3』
- 『Cisco Virtual Security Gateway, Release 4.2(1)VSG1(3.1) and Cisco Virtual Network Management Center, Release 1.3 Installation and Upgrade Guide』
- 『Cisco Virtual Network Management Center CLI コンフィギュレーションガイドリリース 1.3』
- 『Cisco Virtual Network Management Center GUI Configuration Guide, Release 1.3』
- 『Cisco Virtual Network Management Center XML API Reference Guide, Release 1.3』

Cisco Virtual Security Gateway に関するマニュアル

以下の Cisco Virtual Security Gateway for the Nexus 1000V シリーズ スイッチに関するマニュアルは、Cisco.com の次の URL で入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps11208/tsd_products_support_model_home.html

- 『Cisco Virtual Security Gateway for Nexus 1000V Series Switch Release Notes, Release 4.2(1)VSG1(3.1)』
- 『Cisco Virtual Security Gateway, Release 4.2(1)VSG1(3.1) and Cisco Virtual Network Management Center, Release 1.3 Installation and Upgrade Guide』
- 『Cisco Virtual Security Gateway for Nexus 1000V Series Switch License Configuration Guide, Release 4.2(1)VSG1(3.1)』
- 『Cisco Virtual Security Gateway for Nexus 1000V Series Switch Configuration Guide, Release 4.2(1)VSG1(3.1)』

- 『Cisco Virtual Security Gateway for Nexus 1000V Series Switch Command Reference, Release 4.2(1)VSG1(3.1)』
- 『Cisco Virtual Security Gateway for Nexus 1000V Series Switch Troubleshooting Guide, Release 4.2(1)VSG1(3.1)』

Cisco Nexus 1000V シリーズ スイッチのマニュアル

Cisco Nexus 1000V シリーズ スイッチ のマニュアルは、次の URL で入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps9902/tsd_products_support_series_home.html

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。



CHAPTER 1

概要

この章では、Virtual Network Management Center (VNMC) および VNMC CLI に関する基本情報を提供します。

この章の内容は、次のとおりです。

- [「VNMC について」 \(P.1-1\)](#)
- [「VNMC CLI に関する情報」 \(P.1-2\)](#)

VNMC について

ここには VNMC に関する情報が含まれます。

- [「VNMC」 \(P.1-1\)](#)
- [「システム要件」 \(P.1-2\)](#)

VNMC

VNMC は、Red Hat Enterprise Linux (RHEL) に基づく仮想アプライアンスであり、Cisco Nexus 1000V シリーズ スイッチに Cisco Virtual Security Gateway (VSG) の集中型のデバイスおよびセキュリティ ポリシー管理を提供します。マルチテナント操作用に設計された VNMC は、仮想化されたデータセンターとクラウド環境に、シームレスで、スケーラブルな自動化中心の管理を提供します。

VNMC で Web ベースの GUI、CLI および XML API を使用すると、データセンター全体に展開されている VSG を中央から管理することができます。

マルチテナンシーとは、ソフトウェアの単一のインスタンスが Software-as-a-Service (SaaS) サーバで動作し、複数のクライアント組織またはテナントを処理するアーキテクチャの原理を指します。マルチテナンシーは、個別のソフトウェア インスタンスが異なるクライアント組織ごとに設定される複数インスタンスのアーキテクチャと対比されます。マルチテナント アーキテクチャでは、各テナントがカスタマイズされた仮想アプリケーション インスタンスと連動するよう、ソフトウェア アプリケーションは、データや構成を仮想的にパーティショニングするように設計されています。

VNMC は、各管理対象デバイスがサブコンポーネント別に表示される情報モデル主導のアーキテクチャに基づいて構築されています。このアーキテクチャにより、VNMC はマルチテナント インフラストラクチャの保護の俊敏性を高め、簡略化します。

VNMC は管理 VLAN を介して vCenter、VSM および VSG と通信します。

システム要件

次に、Cisco VNMC の要件を示します。

仮想アプライアンスの要件	<ul style="list-style-type: none"> • 1.5 GHz の仮想 CPU • 3 GB の RAM • 25 GB のハード ドライブ • 1 個のネットワーク管理インターフェイス
ハイパーバイザ要件	<ul style="list-style-type: none"> • VMware ESX または ESXi VMware のある vSphere 4.0.1、4.0.2、または 4.1.0 • VMware vCenter 4.0.1、4.0.2、または 4.1.0
プロトコル要件	<ul style="list-style-type: none"> • HTTP/HTTPS • LDAP
オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none"> • Linux

VNMC CLI に関する情報

ここには VNMC CLI に関する情報が含まれます。

この項は、次の内容で構成されています。

- [「VNMC CLI の概要」\(P.1-2\)](#)
- [「VNMC CLI の基本コマンド」\(P.1-5\)](#)

VNMC CLI の概要

CLI は、VNMC の重要なコンポーネントです。これを使用すると、次のタスクを実行できます。

- 再インストールせずに VNMC を VNMC の完全な状態に復元する。
- テクニカル サポート データを収集し、ファイルにコピーする。
- ホスト名を変更する。
- 管理インターフェイス IP 設定を変更する。
- VNMC のデバイス プロファイルを設定する。
- VNMC のシステム ポリシーを作成する。
- バックアップを作成し、サービスをエクスポート/インポートする。

VNMC は、6 個のサブ CLI を含みます。VNMC を管理するには、6 個のサブ CLI をすべて使用します。CLI は次のとおりです。

- 管理コントローラ：これは、デフォルトの CLI です。コマンドプロンプトは `host-name#` です。この CLI を使用して、次のタスクを実行します。

```

host-name#
  commit-buffer  Commit transaction buffer
  connect        Connect to another CLI
  discard-buffer Discard transaction buffer
  exit           Exit from command interpreter
  scope         Changes the current mode

```

```

show          Show system information
terminal     Terminal
top          Go to the top mode
where        Show information about the current mode

```

```

host-name# show
cli          CLI Information
clock       Clock
network-interface VM IP interface
system      Systems
version     Version of installed applications

```

- ローカル管理：これは、ローカル管理の CLI です。コマンドプロンプトは `host-name(local-mgmt)#` です。この CLI を使用して、次のタスクを実行します。

```

host-name(local-mgmt)#
connect     Connect to Another CLI
copy       Copy a file
delete     Delete a file
dir        Show content of dir
download   Download an application from a remote system
exit       Exit from command interpreter
install    Install a downloaded application
modify     Modify the shared secret on service registry
reboot     Perform system reboot
restore    Restore the VM
service    Control services
show       Show system information
terminal   Terminal
top        Go to the top mode

```

```

host-name(local-mgmt)# connect
local-mgmt  Local-mgmt
policy-mgr  Policy-mgr
resource-mgr Resource-mgr
service-reg Service-reg
vm-mgr     Vm-mgr

```

```

host-name(local-mgmt)# show
cli          CLI Information
clock       Clock
download    Downloaded applications
install     Installed applications
process     Process
tech-support Show tech support
version     Version of installed applications

```

- ポリシー マネージャ：これは、ポリシー マネージャの CLI です。コマンドプロンプトは `host-name(policy-mgr)#` です。この CLI を使用して、次のタスクを実行します。

```

host-name(policy-mgr)#
commit-buffer Commit transaction buffer
connect       Connect to Another CLI
discard-buffer Discard transaction buffer
exit         Exit from command interpreter
scope        Changes the current mode
show         Show system information
terminal     Terminal
top          Go to the top mode
where        Show information about the current mode

```

```

host-name(policy-mgr)# connect
policy-mgr  Policy-mgr
resource-mgr Resource-mgr

```

```

service-reg  Service-reg
vm-mgr      Vm-mgr

host-name(policy-mgr)# scope
monitoring  Monitor the system
org         Organizations

host-name(policy-mgr)# show
cli         CLI Information
org         Organizations
timezone   Set timezone
version     Version of installed applications

```

- リソース マネージャ：これは、リソース マネージャの CLI です。コマンドプロンプトは `host-name(resource-mgr)#` です。この CLI を使用して、次のタスクを実行します。

```

host-name(resource-mgr)#
commit-buffer  Commit transaction buffer
connect        Connect to Another CLI
discard-buffer  Discard transaction buffer
exit           Exit from command interpreter
scope          Changes the current mode
show           Show system information
terminal       Terminal
top            Go to the top mode
where          Show information about the current mode

host-name(resource-mgr)# connect
policy-mgr    Policy-mgr
resource-mgr  Resource-mgr
service-reg   Service-reg
vm-mgr        Vm-mgr

host-name(resource-mgr)# scope
monitoring    Monitor the system

Tech-Docs(resource-mgr)# show
cli           CLI Information
version       Version of installed applications

```

- サービル レジストリ：これは、サービル レジストリの CLI です。コマンドプロンプトは `host-name(service-reg)#` です。この CLI を使用して、次のタスクを実行します。

```

Tech-Docs(service-reg)#
acknowledge    Acknowledge
commit-buffer  Commit transaction buffer
connect        Connect to Another CLI
discard-buffer  Discard transaction buffer
exit           Exit from command interpreter
scope          Changes the current mode
show           Show system information
terminal       Terminal
top            Go to the top mode
where          Show information about the current mode

host-name(service-reg)# connect
policy-mgr    Policy-mgr
resource-mgr  Resource-mgr
service-reg   Service-reg
vm-mgr        Vm-mgr

host-name(service-reg)# scope
monitoring    Monitor the system

```



```

host-name(service-reg)# show
cli          CLI Information
clients      Show registered clients
controllers  Show registered controllers
fault        Fault
providers    Show registered providers
version      Version of installed applications

```

- 仮想マシン マネージャ：これは、仮想マシン マネージャの CLI です。コマンドプロンプトは `host-name(vm-mgr)#` です。この CLI を使用して、次のタスクを実行します。

```

host-name(vm-mgr)#
commit-buffer  Commit transaction buffer
connect        Connect to Another CLI
discard-buffer Discard transaction buffer
exit           Exit from command interpreter
scope          Changes the current mode
show           Show system information
terminal       Terminal
top            Go to the top mode
where          Show information about the current mode

```

```

host-name(vm-mgr)# connect
policy-mgr     Policy-mgr
resource-mgr   Resource-mgr
service-reg    Service-reg
vm-mgr         Vm-mgr

```

```

host-name(vm-mgr)# scope
monitoring     Monitor the system

```

```

host-name(vm-mgr)# show
cli          CLI Information
version      Version of installed applications

```

VNMC CLI の基本コマンド

VNMC CLI の基本的なコマンドは次のとおりです。

- **commit-buffer**：設定を保存します。
commit-buffer は、オプション キーワードの **verify-only** と一緒に使用できます。 **commit-buffer verify-only** を実行すると、設定は保存されず、確認のみされて保存されません。
- **connect**：他の CLI に接続します。
- **discard-buffer**：設定を削除します。
- **enter**：オブジェクトを作成し、モードを開始します。
- **exit**：モード、CLI、およびデフォルト CLI を終了します。
- **scope**：モードを開始します。
- **show**：情報を表示します。
- **top**：ロケーション管理コントローラ モードを開始します。
- **where**：VNMC CLI 内の現在の位置を示します。
- **?**：モードで使用できるコマンドを表示します。
- **>**：show コマンドをファイルヘリダイレクトします。
- **>>**：show コマンドをアペンド モードでファイルにリダイレクトします。

- |: show コマンドの出力をフィルタにパイプします。



CHAPTER 2

VNMC の管理

この章では、Virtual Network Management Center (VNMC) を管理する手順について説明します。
この章の内容は、次のとおりです。

- 「VNMC の再起動」 (P.2-1)
- 「システムの更新」 (P.2-2)
- 「ホスト名の設定」 (P.2-3)
- 「VNMC の復元」 (P.2-4)
- 「サービスの使用」 (P.2-5)
- 「ファイルおよびアプリケーションの管理」 (P.2-10)
- 「セキュリティの管理」 (P.2-14)
- 「ターミナルセッションパラメータの設定」 (P.2-18)
- 「システム情報の表示」 (P.2-20)

VNMC の再起動

VNMC をリブートできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」 (P.1-5) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. `connect local-mgmt`
2. `reboot`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnm# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	reboot Example: vnm(local-mgmt)# reboot	VNMC をリブートします。

例

次に、VNMC をリブートする例を示します。

```
vnm# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnm(local-mgmt)# reboot
The VM will be rebooted. Are you sure? (yes/no): yes
Rebooting...
Broadcast message from root (pts/0) (Thu Sep 30 01:52:25 2010):
The system is going down for reboot NOW!
vnm(local-mgmt)#
```

システムの更新

システムを更新できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **update {bootflash: | ftp: | scp: | sftp: | tftp: | volatile:} <uri>**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	update Example: vnmc(local-mgmt) # update bootflash:/VNMC.1.0.0.511.bin	システムを更新します。

例

次の例は、システムを更新する方法を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(local-mgmt) # update bootflash:/VNMC.1.0.0.511.bin
```



(注) 前の例で使用したファイル VNMC.1.0.0.511.bin はリリース済み .bin ファイルです。

ホスト名の設定

ホスト名を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

ホスト名を変更すると、変更の影響をユーザに警告することを目的に、新しい証明書が生成されます。VM Manager 拡張ファイルを再びエクスポートし、vCenter にインストールする必要があります。証明書がインストールされているすべての Web ブラウザクライアントに、新しい証明書のプロンプトが表示されます。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. scope system

2. set hostname

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>scope system</code> Example: <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ 2	<code>set hostname</code> Example: <code>vnmc /system # set hostname testHost</code>	ホスト名を設定します。
ステップ 3	<code>commit-buffer</code> Example: <code>vnmc /system* # commit-buffer</code>	設定をコミット（保存）します。

例

次に、ホスト名を設定する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # set hostname testHost
vnmc /system* # commit-buffer
vnmc /system #
```

VNMC の復元

VNMC を復元できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. `connect local-mgmt`
2. `restore {ftp: | scp: | sftp: | tftp:} <uri-remote-file>`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnm# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	restore Example: vnm(local-mgmt)# restore scp://jsmith@171.71.171.100/ws/jsmith-sjc/483fullstatesftp	VNMC を復元します。

例

次に、VNMC を復元する例を示します。

```
vnm# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnm(local-mgmt)# restore scp://jsmith@171.71.171.100/ws/jsmith-sjc/483fullstatesftp
Enter password:
Stopping services
Extracting files
Configuring network
NOTE - the IP address you're restoring from differs from your current IP, you might lose
network connectivity
vnm(local-mgmt)#
```

サービスの使用

データベースを再初期化して、サービスを開始および停止できます。

この項は、次の内容で構成されています。

- 「データベースの再初期化」 (P.2-6)
- 「サービスの再起動」 (P.2-6)
- 「サービスの起動」 (P.2-7)
- 「サービスのステータスの表示」 (P.2-8)
- 「サービスの停止」 (P.2-9)

データベースの再初期化

データベースを再初期化できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **service reinit**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	service reinit Example: vnmc(local-mgmt)# service reinit	データベースを再初期化します。

例

次に、データベースを再初期化する例を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt)# service reinit
The VNMC databases will be reinitialized. Are you sure? (yes/no): yes
Shutting down pmon:                [ OK ]
Starting pmon:                       [ OK ]
vnmc(local-mgmt)#
```

サービスの再起動

サービスを再起動できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **service restart**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	service restart Example: vnmc(local-mgmt)# service restart	サービスを再起動します。

例

次に、サービスを再起動する例を示します。

```

vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt)# service restart
Shutting down pmon: [ OK ]
Starting pmon: [ OK ]
vnmc(local-mgmt)#

```

サービスの起動

サービスを起動できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

■ サービスの使用

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **service start**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	service start Example: vnmc(local-mgmt)# service start	サービスを起動します。

例

次に、サービスを起動する例を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt)# service start
Starting pmon: [ OK ]
vnmc(local-mgmt)#
```

サービスのステータスの表示

サービスのステータスを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **service status**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnmcli# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	service status Example: vnmcli(local-mgmt)# service status	すべてのサービスのステータスを表示します。

例

```
vnmcli# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(local-mgmt)# service status
```

SERVICE NAME	STATE	RETRY (MAX)	CORE
-----	----	-----	----
pmon	running	N/A	N/A
core-svc_cor_dme	running	0 (4)	no
service-reg-svc_reg_dme	running	0 (4)	no
core-svc_cor_secAG	running	0 (4)	no
resource-mgr-svc_res_dme	running	0 (4)	no
policy-mgr-svc_pol_dme	running	0 (4)	no
sam_cores_mon.sh	running	0 (4)	no
vm-mgr-svc_vmm_dme	running	0 (4)	no
core-svc_cor_controllerAG	running	0 (4)	no
vm-mgr-svc_vmm_vmAG	running	0 (4)	no
core-httpd.sh	running	0 (4)	no
core-svc_cor_sessionmgrAG	running	0 (4)	no
vnmcli(local-mgmt)#			

サービスの停止

サービスを停止できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **service stop**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	service stop Example: vnmc(local-mgmt)# service stop	サービスを停止します。

例

次に、サービスを停止する例を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt)# service stop
Shutting down pmon: [ OK ]
vnmcs(local-mgmt)#
```

ファイルおよびアプリケーションの管理

この項は、次の内容で構成されています。

- 「ファイルのコピー」 (P.2-10)
- 「ファイルの削除」 (P.2-11)
- 「ブートフラッシュおよび揮発性ディレクトリの管理」 (P.2-12)

ファイルのコピー

ファイルをコピーできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **copy {bootflash: | ftp: | scp: | stfp: | tftp: | volatile:} <uri-source-file> {bootflash: | ftp: | scp: | stfp: | tftp: | volatile:} <uri-destination-file>**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	copy Example: vnmc(local-mgmt)# copy scp://jsmith@171.71.171.100/ws/jsmith-sjc/VNMC-dplug.bin bootflash:/	ファイルをコピーします。

例

次に、ファイルをコピーする例を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt)# copy scp://jsmith@171.71.171.100/ws/jsmith-sjc/VNMC-dplug.bin
bootflash:/

Password:
vnmc(local-mgmt)#
```

ファイルの削除

ファイルを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **delete {bootflash: | volatile:} <uri-file>**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnmcli# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	delete Example: vnmcli(local-mgmt)# delete bootflash://VNMC-dplug.bin	ファイルを削除します。

例

次に、ファイルを削除する例を示します。

```
vnmcli# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(local-mgmt)# delete bootflash://VNMC-dplug.bin
Delete bootflash://VNMC-dplug.bin? (yes/no): yes
Deleted
vnmcli(local-mgmt)#
```

ブートフラッシュおよび揮発性ディレクトリの管理

ブートフラッシュおよび揮発性ディレクトリを管理できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. `connect local-mgmt`
2. `dir {bootflash: | volatile:}`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect local-mgmt</code> Example: vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	<code>dir</code> Example: vnmc(local-mgmt)# dir bootflash:	.

例

次に、ブートフラッシュ ディレクトリをモニタする例を示します。

```

vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt)# dir bootflash:

    23M Oct 19 15:06 core-1.0.0-419.i386.rpm
    11M Oct 19 15:06 core-gui-1.0.0-419.i386.rpm
    19M Oct 19 15:06 identifier-mgr-1.0.0-419.i386.rpm
    1.9M Oct 19 15:06 identifier-mgr-gui-1.0.0-419.i386.rpm
    20M Oct 19 15:06 policy-mgr-1.0.0-419.i386.rpm
    4.3M Oct 19 15:06 policy-mgr-gui-1.0.0-419.i386.rpm
    20M Oct 19 15:06 resource-mgr-1.0.0-419.i386.rpm
    3.8M Oct 19 15:06 resource-mgr-gui-1.0.0-419.i386.rpm
    20M Oct 19 15:06 service-reg-1.0.0-419.i386.rpm
    1.6M Oct 19 15:06 service-reg-gui-1.0.0-419.i386.rpm
    19M Oct 19 15:06 ucsmsim-1.0.0-419.i386.rpm
    1.6M Oct 19 15:06 ucsmsim-gui-1.0.0-419.i386.rpm
    20M Oct 19 15:06 vm-mgr-1.0.0-419.i386.rpm
    21M Oct 19 15:06 vsmPA-1.0.0-419.i386.rpm
    2.1M Oct 19 15:06 vsmPA-gui-1.0.0-419.i386.rpm
    21M Oct 19 15:06 vsnPA-1.0.0-419.i386.rpm
    2.1M Oct 19 15:06 vsnPA-gui-1.0.0-419.i386.rpm

Usage for bootflash://
18187836 bytes used

```

```

2020580 bytes free
20208416 bytes total
vnmc(local-mgmt)#

```



- (注) 1.2 から 1.3 へのアップグレードは、32 文字と等しい文字長のユーザが存在する場合、許可されません。
 すべてのユーザは、アップグレード前に最大 31 文字に小さくする必要があります。
 プロセスは次のとおりです。
 user1 が 32 文字の場合、次の手順を実行します。
1. 最大 31 文字で新しい user2 を作成します。
 2. user1 に割り当てられているものと同じロールおよびロケールを user2 に割り当てます。
 3. user1 を削除します。

セキュリティの管理

この項は、次の内容で構成されています。

- 「[共有シークレットパスワードの変更](#)」(P.2-14)

共有シークレットパスワードの変更

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **modify shared-secret**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	modify shared-secret Example: vnmc(local-mgmt)# modify shared-secret	共有シークレットパスワードを変更します。 パスワードには少なくとも 8 文字が必要です。

例

次に、共有シークレット パスワードを変更する例を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmc(local-mgmt)# modify shared-secret
  Enter the Shared Secret :
  Confirm Shared Secret :
vnmc(local-mgmt)#
```

ネットワーク インターフェイスの管理

この項では、仮想マシン ネットワーク インターフェイスの管理手順を示します。

この項の内容は、次のとおりです。

- 「IP アドレスの設定」(P.2-15)
- 「ゲートウェイ アドレスの設定」(P.2-16)
- 「ネットマスクの設定」(P.2-17)
- 「次に、インターフェイス ID、IP アドレス、ゲートウェイ、およびネットマスクをリスト形式で表示する例を示します。」(P.2-23)

IP アドレスの設定

はじめる前に

**注意**

この変更は、いったんコミットすると、現在の CLI セッションから切断される場合があります。

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope network-interface mgmt**
2. **set net ip <ip-address>**
3. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope network-interface mgmt Example: vnmcc# scope network-interface mgmt	ネットワークインターフェイス モードを開始します。
ステップ2	set net ip Example: vnmcc /network-interface # set net ip 209.165.200.230	IP アドレスを設定します。 引数の形式は A.B.C.D です。
ステップ3	commit-buffer Example: vnmcc /network-interface* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、IP アドレスを 209.165.200.230 に設定する例を示します。

```
vnmcc# scope network-interface mgmt
vnmcc /network-interface # set net ip 209.165.200.230
Warning: When committed, this change may disconnect the current CLI session.
vnmcc /network-interface* # commit-buffer
vnmcc /network-interface#
```

ゲートウェイ アドレスの設定

はじめる前に



注意

このプロパティをリセットするときに、何を実行していたかを明らかにしておく必要があります。いったんリセットすると、ネットワーク内のトラフィックがリセットされます。

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope network-interface mgmt**
2. **set net gw <gateway-address>**
3. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope network-interface mgmt</code> Example: <code>vnmc# scope network-interface</code>	ネットワークインターフェース モードを開始します。
ステップ2	<code>set net gw</code> Example: <code>vnmc /network-interface # set net gw 209.165.200.225</code>	ゲートウェイ アドレスを設定します。 引数の形式は A.B.C.D です。
ステップ3	<code>commit-buffer</code> Example: <code>vnmc /network-interface* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ゲートウェイ アドレスを 209.165.200.225 に設定する例を示します。

```
vnmc# scope network-interface mgmt
vnmc /network-interface # set net gw 209.165.200.225
Warning: When committed, this change may disconnect the current CLI session.
vnmc /network-interface* # commit-buffer
vnmc /network-interface #
```

ネットマスクの設定

はじめる前に



注意

この変更は、いったんコミットすると、現在の CLI セッションから切断される場合があります。

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope network-interface mgmt`
2. `set net netmask <netmask>`
3. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope network-interface mgmt Example: vnm# scope network-interface	ネットワークインターフェイス モードを開始します。
ステップ2	set net netmask Example: vnm /network-interface # set net netmask 255.255.255.254	ネットマスクを設定します。 引数の形式は A.B.C.D です。
ステップ3	commit-buffer Example: vnm /network-interface* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、ネットマスクを 255.255.255.0 に設定する例を示します。

```
vnm# scope network-interface mgmt
vnm /network-interface # set net netmask 255.255.255.0
Warning: When committed, this change may disconnect the current CLI session.
vnm /network-interface* # commit-buffer
vnm /network-interface#
```

ターミナル セッション パラメータの設定

ターミナル セッション パラメータを設定できます。

この項は、次の内容で構成されています。

- 「[ターミナルの長さの設定](#)」 (P.2-18)
- 「[セッションタイムアウトの設定](#)」 (P.2-19)
- 「[ターミナルの幅の設定](#)」 (P.2-20)

ターミナルの長さの設定

show コマンドの実行中にコンピュータ画面に表示する文字の行数を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」 (P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. terminal length

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	terminal length Example: vnm# terminal length 46	表示する行数を設定します。 有効な値の範囲は 0 ~ 511 です。

例

次に、表示する行数を 46 に設定する例を示します。

```
vnm# terminal length 46
vnm#
```

セッション タイムアウトの設定

ターミナル セッション タイムアウトを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. terminal session-timeout

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	terminal session-timeout Example: vnm# terminal session-timeout 100	ターミナル セッション タイムアウトを設定します。 有効な値の範囲は 0 ~ 525600 です。

例

次に、ターミナルセッションタイムアウトを 100 分に設定する例を示します。

```
vnm# terminal session-timeout 100
vnm#
```

ターミナルの幅の設定

`show` コマンドの実行中にコンピュータ画面に表示する文字の列数を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. terminal width

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	terminal width Example: vnmc# terminal width 46	表示する列数を設定します。 有効な値の範囲は 24 ~ 511 です。

例

次に、表示する列数を 46 に設定する例を示します。

```
vnmc# terminal width 46
vnmc#
```

システム情報の表示

システム情報を表示できます。

この項は、次の内容で構成されています。

- 「[プロバイダーの表示](#)」(P.2-21)
- 「[CLI 情報の表示](#)」(P.2-22)
- 「[クロックの表示](#)」(P.2-22)
- 「[ネットワーク インターフェイスの表示](#)」(P.2-23)
- 「[システム情報の表示](#)」(P.2-24)
- 「[バージョン番号の表示](#)」(P.2-24)
- 「[テクニカルサポート情報の表示](#)」(P.2-26)
- 「[FSM の表示](#)」(P.2-27)

プロバイダーの表示

VNMC プロバイダーを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

サービル レジストリ

手順の概要

1. **connect service-reg**
2. **show providers**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect service-reg Example: vnmc# connect service-reg	サービス レジストリ CLI を開始します。
ステップ2	show providers Example: vnmc(policy-mgr)# show providers	プロバイダーを表示します。

例

次に、プロバイダーを表示する例を示します。

```
vnmc# connect service-reg
vnmc(service-reg) # show providers

Registered Providers:
  ID: 1001
  Registered Provider IP: 209.165.200.230
  Registered Provider Name: vnmc
  Registered Provider Type: Policy Mgr

  ID: 1002
  Registered Provider IP: 209.165.200.230
  Registered Provider Name: vnmc
  Registered Provider Type: Resource Mgr

  ID: 1004
  Registered Provider IP: 209.165.200.230
  Registered Provider Name: vnmc
  Registered Provider Type: Vm Mgr
```

CLI 情報の表示

VNMC CLI に関する情報を表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `show cli [command-status | history | mode-info | shell-type]`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	show cli Example: vnmcc# show cli	CLI 情報を表示します。

例

次に、CLI モードの情報を表示する例を示します。

```
vnmcc# show cli mode-info
Mode: /
Mode Data:
vnmcc#
```

クロックの表示

システム クロックを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

ローカル管理

手順の概要

1. `show clock`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	show clock Example: vnm# show clock	クロックを表示します。

例

次に、クロックを表示する例を示します。

```
vnm# show clock
Thu Nov 18 00:58:07 UTC 2010
vnm#
```

ネットワーク インターフェイスの表示

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. show network-interface [detail | fsm | mgmt]

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	show network-interface Example: vnm# show network-interface mgmt	ネットワーク インターフェイスを表示します。

例

次に、インターフェイス ID、IP アドレス、ゲートウェイ、およびネットマスクを表形式で表示する例を示します。

```
vnm# show network-interface mgmt

VM IP interface:
  ID   OOB IP Addr   OOB Gateway   OOB Netmask
-----
Mgmt 10.193.33.218 10.193.33.1   255.255.255.0
vnm#
```

次に、インターフェイス ID、IP アドレス、ゲートウェイ、およびネットマスクをリスト形式で表示する例を示します。

```

vnmc# show network-interface detail

VM IP interface:
  ID: Mgmt
  OOB IP Addr: 10.193.33.218
  OOB Gateway: 10.193.33.1
  OOB Netmask: 255.255.255.0
  Current Task:
vnmc#

```

システム情報の表示

システム情報を表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. show system [detail | fsm]

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	show system Example: vnmc# show system	システム情報を表示します。

例

次に、システムの詳細情報を表示する例を示します。

```

vnmc# show system detail

Systems:
  Hostname: vnmc
  Address: 10.193.33.218
  Current Task:
vnmc#

```

バージョン番号の表示

アプリケーションのバージョン番号を表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ
ローカル管理

手順の概要

1. (任意) **connect local-mgmt**
2. **show version**



(注) 手順 1 は任意です。ローカル管理 CLI で、この show コマンドを実行することもできます。

手順の詳細 (local-mgmt)

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnmcli# local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ2	show version Example: vnmcli# show version	バージョン番号を表示します。

手順の詳細 (#)

	コマンド	目的
ステップ3	show version Example: vnmcli# show version	バージョン番号を表示します。

例

次に、管理コントローラ CLI でバージョン番号を表示する例を示します。

```
vnmcli# show version
```

```
Name                Package                Version                GUI
----                -
core                 Base System            1.0(0.504)            1.0(0.504)
service-reg          Service Registry       1.0(0.504)            1.0(0.504)
policy-mgr           Policy Manager         1.0(0.504)            1.0(0.504)
resource-mgr         Resource Manager       1.0(0.504)            1.0(0.504)
vm-mgr               VM manager             1.0(0.504)            none
vnmcli#
```

テクニカルサポート情報の表示

テクニカル サポート情報を表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. **connect local-mgmt**
2. **show tech-support**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect local-mgmt Example: vnmc# connect local-mgmt	ローカル管理 CLI を開始します。
ステップ1	show tech-support Example: vnmc# show tech-support	テクニカル サポート情報を表示します。

例

次に、テクニカル サポート情報を表示する例を示します。

```
vnmc# connect local-mgmt
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(local-mgmt)# show tech-support
Initiating tech-support information on VNMC-Tech-Docs.Cisco.com
All tech-support tasks are completed.
The detailed tech-support information is located at volatile:///20101130121144-V
NMC-Tech-Docs.Cisco.com-techsupport.tgz
vnmc(local-mgmt)#
```

FSM の表示

FSM を表示できます。FSM とは、有限状態マシンのことです。FSM を使用して、設定またはインベントリ タスクの進捗状況やステータスを追跡します。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ローカル管理

手順の概要

1. `scope system`
2. `show fsm [status | task]`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmc# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ1	<code>show fsm</code> Example: vnmc /system # <code>show fsm status</code>	FSM を表示します。

例

次に、FSM のステータスを表示する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # show fsm status

    FSM 1:
    Remote Result: Not Applicable
    Remote Error Code: None
    Remote Error Description:
    Status: 0
    Previous Status: 0
    Timestamp: Never
    Try: 0
    Progress (%): 100
    Current Task:
vnmc /system #
```




CHAPTER 3

ファイルバックアップと管理データのエクスポートおよびインポートの管理

この章では、ファイルバックアップと管理データの管理手順を示します。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「Cisco VNMC ソフトウェアのバックアップ設定への復元」 (P.3-1)
- 「ファイルバックアップの実行」 (P.3-3)
- 「管理データのエクスポートおよびインポートの実行」 (P.3-13)

Cisco VNMC ソフトウェアのバックアップ設定への復元

バックアップ設定には、設定および関連付けの詳細などすべてのバックアップが含まれます。これは、バイナリ バックアップです。

Cisco VNMC ソフトウェアをバックアップ設定に復元するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 Cisco VNMC 仮想マシン (VM) をインストールします。

詳細については、『Cisco Virtual Security Gateway, Release 4.2(1)VSG1(1)』および『Cisco Virtual Network Management Center, Release 1.0.1 Installation Guide』を参照してください。

ステップ 2 Cisco VSG ポリシー エージェントをアンインストールします。

このタスク用に Cisco VSG コンソールにセキュア シェルを接続します。この手順により、トラフィックの中断は発生しません。

```
vsg# conf t
vsg (config)# vnm-policy-agent
vsg (config-vnm-policy-agent)# no policy-agent-image
```



(注) 復元する Cisco VNMC に関連するすべての Cisco VSG に対して次の手順を実行します。

ステップ 3 VSM ポリシー エージェントをアンインストールします。

このタスク用に VSM コンソールにセキュア シェルを接続します。この手順により、トラフィックの中断は発生しません。

```
vsm# conf t
vsm (config)# vnm-policy-agent
vsm (config-vnm-policy-agent)# no policy-agent-image
```



(注) 復元する Cisco VNMC に関連するすべての Cisco VSM に対して次の手順を実行します。

ステップ 4 Cisco VNMC データベースを復元します。

このタスク用に Cisco VNMC CLI にセキュア シェルを接続します。Cisco VNMC バックアップの場所により、ファイル転送プロトコル (FTP)、セキュア コピー (SCP)、Trivial File Transfer Protocol (TFTP)、またはセキュア ファイル転送プロトコル (SFTP) を使用して復元します。

```
vnmc# connect local-mgmt
vnmc(local-mgmt)# restore scp: [//[username@]server] [/path]
```

ステップ 5 Cisco VNMC GUI で、[Administration] > [Service Registry] > [Clients] を選択し、[Work] ペインで次の手順に進みます。

- a. 登録されている各 VSM に動作ステータスが `lost-visibility` として表示されるまで待機します。
- b. 各 VSM を選択し、[Delete Client] アイコンをクリックします。

ステップ 6 Cisco VNMC GUI で [Resource Management] > [Resources] > [Virtual Supervisor Modules] を選択し、削除した VSM が表示されていないことを確認します。

ステップ 7 VSM ポリシー エージェントを再インストールします。



(注) VSM ポリシー エージェントをアップグレードする必要がある場合は、ここで新しいソフトウェアをインストールします。

```
VSM# conf t
VSM (config)# vnm-policy-agent
VSM (config-vnm-policy-agent)# policy-agent-image bootflash:vnmc-vsmpa.1.0.1g.bin
```

ステップ 8 すべての VSM がサービス レジストリに登録され、[Resource Management] > [Resources] > [Virtual Supervisor Modules] に表示されるまで待機します。

ステップ 9 Cisco VSG ポリシー エージェントを再インストールします。



(注) Cisco VSG ポリシー エージェントをアップグレードする必要がある場合は、ここで新しいソフトウェアをインストールします。

```
VSG# conf t
VSG (config)# vnm-policy-agent
VSG (config-vnm-policy-agent)# policy-agent-image bootflash:vnmc-vsgpa.1.0.1g.bin
```

ステップ 10 復元プロセスが完了したら、次の状態を確認します。



(注) 復元プロセスはセットアップ環境によっては数分かかる場合があります。

- a. Cisco VSG CLI で、設定が以前の状態に復元されていることを確認します。
- b. Cisco VNMC GUI で、オブジェクトおよびポリシーが以前の状態に復元されていることを確認します。

ファイルバックアップの実行

この項は、次の内容で構成されています。

- 「ファイルバックアップの作成」(P.3-3)
- 「ファイルバックアップの削除」(P.3-4)
- 「ファイルバックアップの表示」(P.3-5)
- 「ファイルバックアップのイネーブル化」(P.3-5)
- 「ファイルバックアップのディセーブル化」(P.3-6)
- 「ファイルバックアップの属性の使用」(P.3-7)

ファイルバックアップの作成

ファイルバックアップを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **create backup** {ftp:<>//user@location/file> | scp:<>//user@location/file> | sftp:<>//user@location/file> | tftp:<>//server:port/path>} full-state {disabled | enabled}
3. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	create backup Example: vnmcli /system # create backup ftp://de@test/testfile full-state enabled	ファイルバックアップを作成します。
ステップ3	commit-buffer Example: vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

■ ファイルバックアップの実行

例

次に、ファイルバックアップを作成する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # create backup ftp://de@test/testfile full-state enabled

Password:
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

ファイルバックアップの削除

ファイルバックアップを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `delete backup <hostname or IP address>`
3. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>delete backup</code> Example: vnmcli /system # delete backup testhostname	ファイルバックアップを削除します。
ステップ3	<code>commit-buffer</code> Example: vnmcli /system* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ファイルバックアップを削除する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # delete backup testfile
vnmcli /system* # commit-buffer
vnmcli /system #
```

ファイルバックアップの表示

ファイルバックアップのリストを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `show backup`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmc# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>show backup</code> Example: vnmc /system # <code>show backup</code>	ファイルバックアップのリストを表示します。

例

次に、ファイルバックアップのリストを表示する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # show backup
```

Backup:

Hostname	Type	User	Protocol	Administrative	State	Description
test	Full State	testOne	Ftp	Enabled		
testTwo	Full State	testTwo	Ftp	Enabled		

```
vnmc /system #
```

ファイルバックアップのイネーブル化

ファイルバックアップをイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope backup <hostname>`
3. `enable`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmcli# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope backup</code> Example: vnmcli /system # <code>scope backup testhostname</code>	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	<code>enable</code> Example: vnmcli /system/backup # <code>enable</code>	バックアップをイネーブルにします。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: vnmcli /system/backup* # <code>commit-buffer</code>	設定をコミット（保存）します。

例

次に、ファイルバックアップをイネーブルにする例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope backup testhostname
vnmcli /system/backup # enable

Password:
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

ファイルバックアップのディセーブル化

ファイルバックアップをディセーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup <hostname>**
3. **disable**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnm# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope backup Example: vnm /system # scope backup testhostname	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	disable Example: vnm /system/backup # disable	バックアップをディセーブルにします。
ステップ4	commit-buffer Example: vnm /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ファイルバックアップをディセーブルにする例を示します。

```
vnm# scope system
vnm /system # scope backup testhostname
vnm /system/backup # disable

Password:
vnm /system/backup* # commit-buffer
vnm /system/backup #
```

ファイルバックアップの属性の使用

ここでは、次の内容について説明します。

- 「ファイルバックアップの説明属性の設定」 (P.3-8)
- 「ファイルバックアップに対するパスワード属性の設定」 (P.3-9)
- 「ファイルバックアップに対するプロトコル属性の設定」 (P.3-10)
- 「ファイルバックアップのリモートファイル属性の設定」 (P.3-10)

- 「ファイルバックアップに対するタイプ属性の設定」(P.3-11)
- 「ファイルバックアップのユーザ属性の設定」(P.3-12)

ファイルバックアップの説明属性の設定

説明属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope backup <hostname>`
3. `set descr <description>`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope backup</code> Example: <code>vnmc /system # scope backup testhostname</code>	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	<code>set descr</code> Example: <code>vnmc /system/backup # set descr testAll</code>	説明属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: <code>vnmc /system/backup* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、説明属性を設定する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # scope backup testhostname
vnmc /system/backup # set descr testAll
vnmc /system/backup* # commit-buffer
vnmc /system/backup #
```

ファイルバックアップに対するパスワード属性の設定

パスワード属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope backup <hostname>`
3. `set password`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmc# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope backup</code> Example: vnmc /system # <code>scope backup</code> testhostname	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	<code>set password</code> Example: vnmc /system/backup # <code>set password</code>	パスワード属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: vnmc /system/backup* # <code>commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、パスワード属性を設定する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # scope backup testhostname
vnmc /system/backup # set password
```

```
Password:
vnmc /system/backup #
```

ファイルバックアップに対するプロトコル属性の設定

プロトコル属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope backup <hostname>`
3. `set protocol`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope backup</code> Example: <code>vnmc /system # scope backup testhostname</code>	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	<code>set protocol</code> Example: <code>vnmc /system/backup # set protocol tftp</code>	プロトコル属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: <code>vnmc /system/backup* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、プロトコル属性を設定する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # scope backup testhostname
vnmc /system/backup # set protocol tftp
vnmc /system/backup* # commit-buffer
vnmc /system/backup #
```

ファイルバックアップのリモート ファイル属性の設定

リモート ファイル プレフィックス属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup** <hostname>
3. **set remote-file**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope backup Example: vnmcli /system # scope backup testhostname	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	set remote-file Example: vnmcli /system/backup # set remote-file a	リモート ファイル プレフィックス属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/backup* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、リモート ファイル プレフィックス属性を設定する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # scope backup testhostname
vnmcli /system/backup # set remote-file-prefix /directory/file_a
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

ファイルバックアップに対するタイプ属性の設定

タイプ属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

■ ファイルバックアップの実行

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope backup <hostname>`
3. `set type`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmcli# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope backup</code> Example: vnmcli /system # <code>scope backup testfile</code>	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	<code>set type</code> Example: vnmcli /system/backup # <code>set type full-state</code>	タイプ属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: vnmcli /system/backup* # <code>commit-buffer</code>	設定をコミット（保存）します。

例

次に、タイプ属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope backup test
vnmcli /system/backup # set type full-state
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

ファイルバックアップのユーザ属性の設定

ユーザ属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope backup <hostname>`
3. `set user`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope backup</code> Example: <code>vnmc /system # scope backup testhostname</code>	バックアップ モードを開始します。
ステップ3	<code>set user</code> Example: <code>vnmc /system/backup # set user techs</code>	ユーザ属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: <code>vnmc /system/backup* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ユーザ属性を設定する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # scope backup testhostname
vnmc /system/backup # set user techs
vnmc /system/backup* # commit-buffer
vnmc /system/backup #
```

管理データのエクスポートおよびインポートの実行

データ エクスポートには設定だけが含まれます。

この項は、次の内容で構成されています。

- 「管理データのエクスポート サービスの作成」 (P.3-14)
- 「管理データのエクスポート サービスの削除」 (P.3-15)
- 「管理データのエクスポート サービスの表示」 (P.3-15)
- 「管理データのエクスポート サービスのイネーブル化」 (P.3-16)
- 「管理データのエクスポート サービスのディセーブル化」 (P.3-17)
- 「管理データのインポート サービスの作成」 (P.3-18)

- 「管理データのインポート サービスの削除」 (P.3-19)
- 「管理データのインポート サービスの表示」 (P.3-20)
- 「管理データのインポート サービスのイネーブル化」 (P.3-21)
- 「管理データの属性の使用」 (P.3-23)

管理データのエクスポート サービスの作成

VNMC 管理データのエクスポート サービスを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」 (P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **create export** {ftp:<user@location/file> | scp:<user@location/file> | sftp:<user@location/file> | ftp:<server:port/path>} {config-all | config-logical | config-system} {disabled | enabled}
3. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	create export Example: vnmcli /system # create export ftp://de@test/PA12 config-all enabled	管理データのエクスポート サービスをイネーブルにします。
ステップ3	commit-buffer Example: vnmcli /system* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理データのエクスポート サービスを作成する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # create export ftp://de@test/PA12 config-all enabled

Password:
vnmcli /system/export* # commit-buffer
```

管理データのエクスポート サービスの削除

管理データのエクスポート サービスを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `delete export <hostname or IP address>`
3. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>delete export</code> Example: <code>vnmc /system # delete export hostname</code>	エクスポート サービスを削除します。
ステップ3	<code>commit-buffer</code> Example: <code>vnmc /system* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理データのエクスポート サービスを削除する例を示します。

```
vnmc# scope system
vnmc /system # delete export PA12
vnmc /system* # commit-buffer
vnmc /system #
```

管理データのエクスポート サービスの表示

エクスポート サービスのリストを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

■ 管理データのエクスポートおよびインポートの実行

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `show export`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmcli# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>show export</code> Example: vnmcli /system # <code>show export</code>	エクスポート サービスのリストを表示します。

例

次に、エクスポート サービスのリストを表示する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # show export
```

Management Data Export:

```

  Hostname   User      Protocol Data Export Type Administrative State Description
  -----
  PA11      test      Ftp      Config System      Enabled
  PA13      test      Ftp      Config All          Enabled
vnmcli /system #
```

管理データのエクスポート サービスのイネーブル化

管理データのエクスポート サービスをイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope export <hostname or IP address>`
3. `enable`

4. commit-buffer

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope export Example: vnmcli /system # scope export hostname	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	enable Example: vnmcli /system/export # enable	管理データのエクスポート サービスをイネーブルにします。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理データのエクスポート サービスをイネーブルにする例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope export hostname
vnmcli /system/export # enable

Password:
vnmcli /system/export* # commit-buffer
vnmcli /system/export #
```

管理データのエクスポート サービスのディセーブル化

管理データのエクスポート サービスをディセーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export** <hostname or IP address>
3. **disable**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope export Example: vnmcli /system # scope export hostname	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	disable Example: vnmcli /system/export # disable	管理データのエクスポート サービスをディセーブルにします。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、管理データのエクスポート サービスをイネーブルにする例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope export hostname
vnmcli /system/export # disable

Password:
vnmcli /system/export* # commit-buffer
vnmcli /system/export #
```

管理データのインポート サービスの作成

VNMC 管理データのインポート サービスを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **create import {ftp: | scp: | sftp: | tftp:} {merge} {disabled | enabled}**
3. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	create import Example: vnmcli /system # create import ftp://de@test/PA13 enabled	管理データのインポート サービスをイネーブルにします。
ステップ3	commit-buffer Example: vnmcli /system* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理データのインポート サービスを作成する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # create import ftp://de@test/PA13 enabled

Password:
vnmcli /system/import* # commit-buffer
vnmcli /system/import #
```

管理データのインポート サービスの削除

管理データのインポート サービスを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **delete import** <hostname or IP address>
3. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	delete import Example: vnmcli /system # delete import hostname	インポート サービスを削除します。
ステップ3	commit-buffer Example: vnmcli /system* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、インポート サービスを削除する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # delete import hostname
vnmcli /system* # commit-buffer
vnmcli /system #
```

管理データのインポート サービスの表示

インポート サービスのリストを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **show import**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnm# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>show import</code> Example: vnm /system # <code>show import</code>	インポート サービスのリストを表示します。

例

次に、インポート サービスのリストを表示する例を示します。

```
vnm# scope system
vnm /system # show import
```

Management Data Import:

Hostname	User	Protocol	Data Import	Action	Administrative	State	Description
PA12	test	Ftp	Replace		Enabled		
PA14	test	Ftp	Replace		Enabled		

```
vnm /system #
```

管理データのインポート サービスのイネーブル化

管理データのインポート サービスをイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope import <hostname or IP address>`
3. `enable`
4. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcc# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnmcc /system # scope import hostname	インポート モードを開始します。
ステップ3	enable Example: vnmcc /system/import # enable	管理データのインポート サービスをイネーブルにします。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcc /system/import* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、管理データのインポート サービスをイネーブルにする例を示します。

```
vnmcc# scope system
vnmcc /system # scope import hostname
vnmcc /system/import # enable

Password:
vnmcc /system/import* # commit-buffer
vnmcc /system/import #
```

管理データのインポート サービスのディセーブル化

管理データのインポート サービスをディセーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope import** <hostname or IP address>
3. **disable**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnmcli /system # scope import hostname	インポート モードを開始します。
ステップ3	disable Example: vnmcli /system/import # disable	管理データのインポート サービスをディセーブルにします。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理データのインポート サービスをディセーブルにする例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # scope import hostname
vnmcli /system/import # disable

Password:
vnmcli /system/import* # commit-buffer
vnmcli /system/import #
```

管理データの属性の使用

この項は、次の内容で構成されています。

- 「インポートに対するアクション属性の設定」 (P.3-23)
- 「エクスポートおよびインポートに対する説明属性の設定」 (P.3-24)
- 「エクスポートおよびインポートに対するパスワード属性の設定」 (P.3-26)
- 「エクスポートおよびインポートに対するプロトコル属性の設定」 (P.3-27)
- 「エクスポートおよびインポートに対するリモート ファイルプレフィックス属性の設定」 (P.3-28)
- 「エクスポートおよびインポートに対するタイプ属性の設定」 (P.3-30)
- 「エクスポートおよびインポートに対するユーザ属性の設定」 (P.3-31)

インポートに対するアクション属性の設定

アクション属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」 (P.1-5) を参照してください。

■ 管理データのエクスポートおよびインポートの実行

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope import** <hostname or IP address>
3. **set action**
4. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnmcli /system # scope import hostname	インポート モードを開始します。
ステップ3	set action Example: vnmcli /system/import # set action merge	アクション属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、アクション属性を設定する例を示します。

```
vnmcli # scope system
vnmcli /system # scope import hostname
vnmcli /system/import # set action merge
vnmcli /system/import* # commit-buffer
vnmcli /system/import #
```

エクスポートおよびインポートに対する説明属性の設定

説明属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope export <hostname or IP address> | scope import <hostname or IP address>`
3. `set descr <description>`
4. `commit-buffer`

手順の詳細（エクスポート モード）

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmcc# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope export</code> Example: vnmcc /system # <code>scope export hostname</code>	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	<code>set descr</code> Example: vnmcc /system/export # <code>set descr testA</code>	説明属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: vnmcc /system/export* # <code>commit-buffer</code>	設定をコミット（保存）します。

手順の詳細（インポート モード）

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmcc# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope import</code> Example: vnmcc /system # <code>scope import hostname</code>	インポート モードを開始します。
ステップ3	<code>set descr</code> Example: vnmcc /system/import # <code>set descr testA</code>	説明属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: vnmcc /system/import* # <code>commit-buffer</code>	設定をコミット（保存）します。

例

次に、エクスポート モードで説明属性を設定する例を示します。

```
vnmcc# scope system
```

■ 管理データのエクスポートおよびインポートの実行

```

vnmcli /system # scope export hostname
vnmcli /system/backup # set descr testA
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup* #

```

エクスポートおよびインポートに対するパスワード属性の設定

パスワード属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope export <hostname or IP address> | scope import <hostname or IP address>`
3. `set password`
4. `commit-buffer`

手順の詳細 (エクスポート モード)

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope export</code> Example: vnmcli /system # scope export PA12	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	<code>set password</code> Example: vnmcli /system/export # set password	パスワード属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

手順の詳細（インポート モード）

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli # scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnmcli /system # scope import hostname	インポート モードを開始します。
ステップ3	set password Example: vnmcli /system/import # set password	パスワード属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、インポート モードでパスワード属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope import hostname
vnmcli /system/import # set password

Password:
vnmcli /system/import #
```

エクスポートおよびインポートに対するプロトコル属性の設定

プロトコル属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope export** <hostname or IP address> | **scope import** <hostname or IP address>
3. **set protocol**
4. **commit-buffer**

手順の詳細 (エクスポート モード)

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope export Example: vnmcli /system # scope export hostname	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	set protocol Example: vnmcli /system/export # set protocol ftp	パスワード属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

手順の詳細 (インポート モード)

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnmcli /system # scope import hostname	インポート モードを開始します。
ステップ3	set protocol Example: vnmcli /system/import # set protocol ftp	プロトコル属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、インポート モードでプロトコル属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope import hostname
vnmcli /system/import # set protocol ftp
vnmcli /system/import* # commit-buffer
vnmcli /system/import #
```

エクスポートおよびインポートに対するリモート ファイル プレフィックス属性の設定

プロトコルを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope export <hostname or IP address> | scope import <hostname or IP address>`
3. `set remote-file-prefix`
4. `commit-buffer`

手順の詳細 (エクスポート モード)

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope export</code> Example: <code>vnmc /system # scope export hostname</code>	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	<code>set remote-file-prefix</code> Example: <code>vnmc /system/export # set remote-file-prefix test</code>	リモート ファイル プレフィックス属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: <code>vnmc /system/export* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

手順の詳細 (インポート モード)

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: <code>vnmc# scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope import</code> Example: <code>vnmc /system # scope import hostname</code>	インポート モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ3	set remote-file-index Example: vnmcli /system/import # set remote-file-index test	リモート ファイル インデックス属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、エクスポート モードでリモート ファイル プレフィックス属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope export hostname
vnmcli /system/export # set remote-file-prefix test
vnmcli /system/export* # commit-buffer
vnmcli /system/export #
```

エクスポートおよびインポートに対するタイプ属性の設定

タイプ属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. **scope system**
2. **scope backup <hostname> | scope export <hostname or IP address>**
3. **set type**
4. **commit-buffer**

手順の詳細（エクスポート モード）

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope export Example: vnmcli /system # scope export hostname	エクスポート モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ3	set type Example: vnmcli /system/export # set type full-state	タイプ属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/export* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

手順の詳細（インポート モード）

	コマンド	目的
ステップ1	scope system Example: vnmcli# scope system	システム モードを開始します。
ステップ2	scope import Example: vnmcli /system # scope import hostname	インポート モードを開始します。
ステップ3	set type Example: vnmcli /system/import # set type full-state	タイプ属性を設定します。
ステップ4	commit-buffer Example: vnmcli /system/import* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、エクスポート モードでタイプ属性を設定する例を示します。

```
vnmcli# scope system
vnmcli /system # scope export hostname
vnmcli /system/backup # set type full-state
vnmcli /system/backup* # commit-buffer
vnmcli /system/backup #
```

エクスポートおよびインポートに対するユーザ属性の設定

ユーザ属性を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ

手順の概要

1. `scope system`
2. `scope export <hostname or IP address> | scope import <hostname or IP address>`
3. `set user`
4. `commit-buffer`

手順の詳細 (エクスポート モード)

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnm# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope export</code> Example: vnm /system # <code>scope export hostname</code>	エクスポート モードを開始します。
ステップ3	<code>set user</code> Example: vnm /system/export # <code>set user techs</code>	ユーザ属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: vnm /system/export* # <code>commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

手順の詳細 (インポート モード)

	コマンド	目的
ステップ1	<code>scope system</code> Example: vnm# <code>scope system</code>	システム モードを開始します。
ステップ2	<code>scope import</code> Example: vnm /system # <code>scope import hostname</code>	インポート モードを開始します。
ステップ3	<code>set user</code> Example: vnm /system/import # <code>set user techs</code>	ユーザ属性を設定します。
ステップ4	<code>commit-buffer</code> Example: vnm /system/import* # <code>commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、インポート モードでユーザ属性を設定する例を示します。

```
vnm# scope system
```

```
vnmc /system # scope import hostname
vnmc /system/import # set user techs
vnmc /system/import* # commit-buffer
vnmc /system/import #
```




CHAPTER 4

ログ、イベントおよび障害の管理

この章では VNMC 管理ロギングを管理する手順について説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「管理ログの使用」(P.4-1)
- 「障害の確認」(P.4-6)
- 「監査ログの表示」(P.4-7)
- 「イベントの表示」(P.4-8)
- 「障害の表示」(P.4-10)

管理ログの使用

この項は、次の内容で構成されています。

- 「セキュリティ レベルおよびログ サイズの設定」(P.4-1)
- 「管理ログ レベルのリセット」(P.4-2)
- 「管理ログ パラメータの保存」(P.4-3)
- 「管理ログの表示」(P.4-4)

セキュリティ レベルおよびログ サイズの設定

重大度レベルとログ サイズを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ
ポリシー マネージャ
リソース マネージャ
サービル レジストリ
仮想マシン マネージャ

手順の概要



(注) 手順 1 は任意です。管理コントローラ CLI で、**set** コマンドを実行することもできます。

1. (任意) **connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}**

2. **scope monitoring**
3. **scope sysdebug**
4. **scope mgmt-logging**
5. **set {all | file | module}**

例

次に、リソース マネージャ CLI ですべてのロギング ファイルに **critical** 重大度レベルを割り当てる例を示します。

```

vnmcli# connect resource-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(resource-mgr)# scope monitoring
vnmcli(resource-mgr) /monitoring # scope sysdebug
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug # scope mgmt-logging
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging # set all crit
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging #

```

管理ログ レベルのリセット

管理ログ レベルをリセットできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ
 ポリシー マネージャ
 リソース マネージャ
 サービル レジストリ
 仮想マシン マネージャ

手順の概要

1. (任意) `connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}`



(注) 手順 1 は任意です。管理コントローラ CLI で、`reset` コマンドを実行することもできます。

2. `scope monitoring`
3. `scope sysdebug`
4. `scope mgmt-logging`
5. `reset`

例

次に、リソース マネージャ CLI でリセットする例を示します。

```
vnmc# connect resource-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(resource-mgr)# scope monitoring
vnmc(resource-mgr) /monitoring # scope sysdebug
vnmc(resource-mgr) /monitoring/sysdebug # scope mgmt-logging
vnmc(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging # reset
vnmc(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging #
```

管理ログ パラメータの保存

管理ログ パラメータを保存できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ
ポリシー マネージャ
リソース マネージャ
サービル レジストリ
仮想マシン マネージャ

手順の概要



(注) 手順 1 は任意です。管理コントローラ CLI で、**save** コマンドを実行することもできます。

1. (任意) **connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}**

2. **scope monitoring**
3. **scope sysdebug**
4. **scope mgmt-logging**
5. **save**

例

次に、リソース マネージャ CLI で保存する例を示します。

```

vnmcli# connect resource-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(resource-mgr)# scope monitoring
vnmcli(resource-mgr) /monitoring # scope sysdebug
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug # scope mgmt-logging
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging # save
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging #

```

管理ログの表示

管理ログを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ
 ポリシー マネージャ
 リソース マネージャ
 サービル レジストリ
 仮想マシン マネージャ

手順の概要

1. (任意) **connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}**



(注) 手順 1 は任意です。管理コントローラ CLI で、**show** コマンドを実行することもできます。

2. **scope monitoring**
3. **scope sysdebug**
4. **scope mgmt-logging**
5. **show**

例

次に、リソース マネージャ CLI ですべてのログ ファイルを表示する例を示します。

```
vnmcli# connect resource-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(resource-mgr)# scope monitoring
vnmcli(resource-mgr) /monitoring # scope sysdebug
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug # scope mgmt-logging
vnmcli(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging # show
```

```
Log File Size Limit:          10000000

Name                          Level  Default Level
-----
agdriver                       Crit   Debug1
ape                             Crit   Debug1
app_sam_cim                    Crit   Debug1
app_sam_dme                    Crit   Debug1
app_sam_ucsmAG                 Crit   Debug1
app_unittest_testsvc          Crit   Debug1
auth                           Crit   Debug1
autocond                      Crit   Debug1
bio_stream                     Crit   Debug1
callhome                      Crit   Debug1
catalog                       Crit   Debug1
char_stream                    Crit   Debug1
core_transactor                Crit   Debug1
core_utils                     Crit   Debug1
doer                           Crit   Debug1
event_                         Crit   Debug1
event_channel                  Crit   Debug1
exception_handling             Crit   Debug1
fault                         Crit   Debug1
filter                         Crit   Debug1
fsm                            Crit   Debug1
http_client                    Crit   Debug1
```

```

log                               Crit   Debug1
meta                               Crit   Debug1
method                             Crit   Debug1
mgmt                               Crit   Debug1
mgmtif                             Crit   Debug1
mit_init                           Crit   Debug1
mo                                  Crit   Debug1
mo_qualifier                       Crit   Debug1
mod_nuova                           Crit   Debug1
net                                 Crit   Debug1
org                                 Crit   Debug1
os                                  Crit   Debug1
pam_proxy                           Crit   Debug1
pool                                Crit   Debug1
proc_app                            Crit   Debug1
prt                                 Crit   Debug1
sam_extXMLApi_                     Crit   Debug1
sam_sec                             Crit   Debug1
sam_sessionmgrAG                   Crit   Debug1
sam_ucssh                           Crit   Debug1
smbios                              Crit   Debug1
snmp                                Crit   Debug1
solprot                             Crit   Debug1
stats                               Crit   Debug1
sysdebug                           Crit   Debug1
top                                 Crit   Debug1
tx                                  Crit   Debug1
xml_parser                          Crit   Debug1
vnmc(resource-mgr) /monitoring/sysdebug/mgmt-logging #

```

障害の確認

障害を確認できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ
 ポリシー マネージャ
 リソース マネージャ
 サービル レジストリ
 仮想マシン マネージャ

手順の概要

1. (任意) **connect** {**policy-mgr** | **resource-mgr** | **service-reg** | **vm-mgr**}



(注) 手順 1 は任意です。 **acknowledge** コマンドは、管理コントローラ CLI で実行できます。

1. **scope monitoring**

2. acknowledge fault

3. commit-buffer

例

次に、管理コントローラ CLI で障害の確認応答を行う例を示します。

```
vnmc# scope monitoring
vnmc /monitoring # acknowledge fault 10194
vnmc /monitoring* # commit-buffer
vnmc /monitoring #
```

監査ログの表示

監査ログのリストを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ
ポリシー マネージャ
リソース マネージャ
サービル レジストリ
仮想マシン マネージャ

手順の概要

1. (任意) **connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}**



(注) 手順 1 は任意です。この **show** コマンドは、管理コントローラ CLI で実行できます。

2. **scope monitoring**

3. **show audit-logs**

例

次に、ポリシー マネージャ CLI で監査ログのリストを表示する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
```

```

http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(resource-mgr)# scope monitoring
vnmcli(policy-mgr) /monitoring # show audit-logs

Audit trail logs:
  Creation Time      User      ID      Action      Description
  -----
2010-11-29T14:56:29.195
                        admin      10615 Modification  sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.195
                        admin      10616 Modification  sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.195
                        admin      10617 Modification  sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.194
                        admin      10607 Modification  sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.194
                        admin      10608 Modification  sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.194
                        admin      10609 Modification  sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.194
                        admin      10610 Modification  sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.194
                        admin      10611 Modification  sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.194
                        admin      10612 Modification  sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.194
                        admin      10613 Modification  sysdebug mgmt log
control module
2010-11-29T14:56:29.194
                        admin      10614 Modification  sysdebug mgmt log
vnmcli(policy-mgr) /monitoring #

```

イベントの表示

イベントのリストを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ
 ポリシー マネージャ
 リソース マネージャ
 サービル レジストリ
 仮想マシン マネージャ

手順の概要

1. (任意) `connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}`



(注) 手順 1 は任意です。この `show` コマンドは、管理コントローラ CLI で実行できます。

2. `scope monitoring`
3. `show events`

例

次に、ポリシー マネージャ CLI でイベントのリストを表示する例を示します。

```

vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(resource-mgr)# scope monitoring
vnm(policy-mgr) /monitoring # show event

Creation Time          ID      Code      Description
-----
2010-11-22T12:09:26.369  10161  E4194467 [FSM:END]: Resolve Mgmt Controller Fsm(FSM:sam:dme:ObserveObservedResolveControllerFsm)
2010-11-22T12:09:26.368  10160  E4194465 [FSM:STAGE:END]: Resolve Mgmt Controller FSM Execute(FSM-STAGE:sam:dme:ObserveObservedResolveControllerFsm:Execute)
2010-11-22T12:09:26.367  10158  E4194465 [FSM:STAGE:STALE-SUCCESS]: Resolve Mgmt Controller FSM Execute(FSM-STAGE:sam:dme:ObserveObservedResolveControllerFsm:Execute)
2010-11-22T12:09:26.018  10156  E4194465 [FSM:STAGE:ASYNC]: Resolve Mgmt Controller FSM Execute(FSM-STAGE:sam:dme:ObserveObservedResolveControllerFsm:Execute)
2010-11-22T12:09:26.017  10153  E4194447 [FSM:END]: Service Registration Fsm(FSM:sam:dme:ExtpolEpRegisterFsm)
2010-11-22T12:09:26.017  10154  E4194464 [FSM:BEGIN]: Resolve Mgmt Controller Fsm(FSM:sam:dme:ObserveObservedResolveControllerFsm)
2010-11-22T12:09:26.017  10155  E4194464 [FSM:STAGE:END]: (FSM-STAGE:sam:dme:ObserveObservedResolveControllerFsm:begin)
2010-11-22T12:09:26.014  10148  E4194445 [FSM:STAGE:END]: Register FSM Execute(FSM-STAGE:sam:dme:ExtpolEpRegisterFsm:Execute)
2010-11-22T12:09:25.991  10144  E4194445 [FSM:STAGE:STALE-SUCCESS]: Register FSM Execute(FSM-STAGE:sam:dme:ExtpolEpRegisterFsm:Execute)
2010-11-22T12:09:25.558  10143  E4194445 [FSM:STAGE:ASYNC]: Register FSM Execute(FSM-STAGE:sam:dme:ExtpolEpRegisterFsm:Execute)
2010-11-22T12:09:25.557  10141  E4194444 [FSM:BEGIN]: Service Registration Fsm(FSM:sam:dme:ExtpolEpRegisterFsm)
2010-11-22T12:09:25.557  10142  E4194444 [FSM:STAGE:END]: (FSM-STAGE:sam:dme:ExtpolEpRegisterFsm:begin)
vnm(policy-mgr) /monitoring #

```

障害の表示

障害のリストを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

管理コントローラ
 ポリシー マネージャ
 リソース マネージャ
 サービル レジストリ
 仮想マシン マネージャ

手順の概要

1. (任意) **connect {policy-mgr | resource-mgr | service-reg | vm-mgr}**



(注)

手順 1 は任意です。管理コントローラ CLI で、**show** コマンドを実行することもできます。

2. **scope monitoring**
3. **show fault**

例

次の例は、障害のリストを表示する方法を示します。

```

vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli# scope monitoring
vnmcli /monitoring # show fault

Severity Code Last Transition Time ID Description
-----
Critical F999556 2010-11-24T18:38:17.345 20133 [FSM:FAILED]: internal system
backup (FSM:sam:dme:MgmtBackupBackup)
Warning F16516 2010-11-24T18:38:17.344 20131 [FSM:STAGE:FAILED]: internal system
backup (FSM-STAGE:sam:dme:MgmtBackupBackup:upload)
Warning F77956 2010-11-24T18:38:17.344 20129 [FSM:STAGE:REMOTE-ERROR]: Result:
end-point-failed Code: unspecified Message: Permission denied
(sam:dme:MgmtBackupBackup:upload)

```

```
vnmc /monitoring #
```




CHAPTER 5

デバイス プロファイルの管理

この章では、デバイス プロファイルを管理する手順について説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「DNS サーバのホスト名の作成」 (P.5-1)
- 「NTP サーバのホスト名の作成」 (P.5-3)
- 「DNS サーバのホスト名の削除」 (P.5-4)
- 「NTP サーバのホスト名の削除」 (P.5-7)
- 「デバイス プロファイルの表示」 (P.5-10)
- 「コア ファイル ポリシーの設定」 (P.5-11)
- 「障害ポリシーの設定」 (P.5-12)
- 「ログ ポリシーの設定」 (P.5-13)
- 「syslog ポリシーの設定」 (P.5-15)
- 「時間帯の設定」 (P.5-16)
- 「DNS サーバの表示」 (P.5-17)
- 「ドメイン名の表示」 (P.5-19)
- 「NTP サーバの表示」 (P.5-20)

DNS サーバのホスト名の作成

ドメイン ネーム サーバ (DNS) のホスト名を作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」 (P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. `connect policy-mgr`
2. `scope org`

3. `scope deviceprofile <profile-name>`
4. `create dns <ip-address>`
5. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>connect policy-mgr</code> Example: vnmc# <code>connect policy-mgr</code>	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<code>scope org</code> Example: vnmc(policy-mgr)# <code>scope org</code>	組織モードを開始します。
ステップ 3	<code>scope deviceprofile</code> Example vnmc(policy-mgr) /org # <code>scope deviceprofile DP0</code>	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	<code>create dns</code> Example vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # <code>create dns 209.165.200.225</code>	DNS ホスト名を作成します。 a.b.c.d 形式の IP アドレスとしてホスト名を指定します。
ステップ 5	<code>commit-buffer</code> Example vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # <code>commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、DNS ホスト名を作成する例を示します。

```

vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # create dns 209.165.200.225
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile #

```

NTP サーバのホスト名の作成

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバのホスト名を作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile** <profile-name>
4. **create ntp-server** <server-name>
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope deviceprofile Example vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ4	create ntp-server Example vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # create ntp-server networkTime	NTP サーバのホスト名を作成します。
ステップ5	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、NTP サーバのホスト名を作成する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
```

```

Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

```

```

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # create ntp-server networkTime
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile #

```

DNS サーバのホスト名の削除

ドメイン ネーム サーバ (DNS) のホスト名を削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **delete dns <ip-address>**
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ3	scope deviceprofile DP0 Example vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ4	delete dns Example vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # delete dns 209.165.200.225	DNS ホスト名を削除します。
ステップ5	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、DNS サーバのホスト名を削除する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # delete dns 209.165.200.225
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

ドメイン名の作成

ドメイン名を作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. connect policy-mgr
2. scope org

3. **scope deviceprofile** <profile-name>
4. **scope domain-name** <domain-name>
5. **set domain** <domain-name>
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnm(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope deviceprofile Example vnm(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	scope domain-name Example vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile # scope domain-name DN0	ドメイン モードを開始します。
ステップ 5	set domain Example vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile # set domain EaTest	ドメイン名を作成します。
ステップ 6	commit-buffer Example vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ドメイン名を作成する例を示します。

```
VNMC-Tech-Docs# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr)# scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0
```

```

vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # scope domain-name DNO
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile/domain-name # set domain EaTest
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile/domain-name* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile/domain-name* #

```

NTP サーバのホスト名の削除

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバのホスト名を削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **delete ntp-server <server-name>**
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope deviceprofile Example vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ4	delete ntp-server Example vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # delete ntp-server networkTime	NTP サーバのホスト名を削除します。
ステップ5	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、NTP サーバのホスト名を削除する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # delete ntp-server networkTime
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

ドメイン名の設定

ドメイン名を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **scope domain-name <domain-name>**
5. **set domain <domain-name>**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnm(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope deviceprofile Example vnm(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ4	scope domain-name Example vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile # scope domain-name DNO	ドメイン名モードを開始します。
ステップ5	set domain Example vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile/domain-name # set domain testOne	ドメイン名を設定します。
ステップ6	commit-buffer Example vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ドメイン名を設定する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
```

```
vnm(policy-mgr)# scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0
vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile # scope domain-name DNO
vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile/domain-name # set domain testOne
vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile/domain-name* # commit-buffer
vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile/domain-name #
```

デバイス プロファイルの表示

デバイス プロファイルを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **show deviceprofile**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	show deviceprofile Example vnmc(policy-mgr) /org # show deviceprofile	デバイス プロファイルを表示します。

例

次に、デバイス プロファイルを表示する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # show deviceprofile
```

```
Name: default
Core File Policy:
Fault Policy: default
Log File Policy: default
Syslog Policy:
vnmc(policy-mgr) /org #
```

コア ファイル ポリシーの設定

コア ファイル ポリシーを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile** *<profile-name>*
4. **set corefile** *<policy-name>*
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope deviceprofile Example vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0	デバイス プロファイル モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ4	set corefile Example vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # set corefile EaCorePA13	コア ファイル ポリシーを設定します。
ステップ5	commit-buffer Example vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、コア ファイル ポリシーを設定する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile default
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # set corefile EaCorePA13
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

障害ポリシーの設定

障害ポリシーを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile** <profile-name>
4. **set faultpolicy** <policy-name>
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope deviceprofile Example vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ4	set faultpolicy Example vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # set faultpolicy EaFaultPA12	障害ポリシーを設定します。
ステップ5	commit-buffer Example vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、障害ポリシーを設定する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # set faultpolicy EaFaultPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

ログポリシーの設定

ログポリシーを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **set log <policy-name>**
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnm(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope deviceprofile Example vnm(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	set log Example vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile # set log EaLogPA12	ログ ポリシーを設定します。
ステップ 5	commit-buffer Example vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ログ ポリシーを設定する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
```

```

vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # set log EaLogPA12
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile #

```

syslog ポリシーの設定

syslog ポリシーを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile** <profile-name>
4. **set syslog** <policy-name>
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope deviceprofile Example vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0	デバイス プロファイル モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ4	set syslog Example vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # set syslog EaSysPA12	syslog ポリシーを設定します。
ステップ5	commit-buffer Example vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、syslog ポリシーを設定する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # set syslog EaSysPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

時間帯の設定

時間帯を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile** <profile-name>
4. **set timezone** <zone-name>
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope deviceprofile Example vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ4	set timezone Example vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # set timezone pacific	時間帯を設定します。
ステップ5	commit-buffer Example vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、時間帯を設定する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile # set timezone pacific
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

DNS サーバの表示

DNS サーバを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile <profile-name>**
4. **show dns**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnm(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope deviceprofile Example vnm(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ 4	show dns Example vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile # show dns	DNS サーバを表示します。

例

次に、DNS サーバを表示する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr)# scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0
vnm(policy-mgr) /org/deviceprofile # show dns

Domain Name Servers:
  IP Address: 209.165.200.226
```

```
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

ドメイン名の表示

ドメイン名を表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope deviceprofile** *<profile-name>*
4. **show domain-name**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope deviceprofile Example vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ4	show domain-name Example vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # show domain-name	ドメイン名を表示します。

例

次に、ドメイン名を表示する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
```

```
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
```

```
VNMC-Tech-Docs(policy-mgr)# scope org
VNMC-Tech-Docs(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0
VNMC-Tech-Docs(policy-mgr) /org/deviceprofile # show domain-name
```

```
Domain Name:
  Domain
  -----
  Cisco.com
vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile #
```

NTP サーバの表示

NTP サーバを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. `connect policy-mgr`
2. `scope org`
3. `scope deviceprofile <profile-name>`
4. `show ntp`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect policy-mgr</code> Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	<code>scope org</code> Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ3	scope deviceprofile Example vnmc(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0	デバイス プロファイル モードを開始します。
ステップ4	show ntp Example vnmc(policy-mgr) /org/deviceprofile # show ntp	NTP サーバを表示します。

例

次に、NTP サーバを表示する例を示します。

```

vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

VNMC-Tech-Docs(policy-mgr) # scope org
VNMC-Tech-Docs(policy-mgr) /org # scope deviceprofile DP0
VNMC-Tech-Docs(policy-mgr) /org/deviceprofile # show ntp

NTP Servers:
  Name: EaTest
VNMC-Tech-Docs(policy-mgr) /org/deviceprofile #

```




CHAPTER 6

ポリシーの管理

この章では、ポリシーの管理に関する情報を示します。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「コア ファイル ポリシーの使用」 (P.6-1)
- 「障害ポリシーの使用」 (P.6-5)
- 「ログ ポリシーの使用」 (P.6-9)
- 「syslog ポリシーの使用」 (P.6-14)

コア ファイル ポリシーの使用

この項は、次の内容で構成されています。

- 「コア ファイル ポリシーの作成」 (P.6-1)
- 「コア ファイル ポリシーの削除」 (P.6-2)
- 「コア ファイル ポリシーの表示」 (P.6-4)

コア ファイル ポリシーの作成

コア ファイル ポリシーを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」 (P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. `connect policy-mgr`
2. `scope org`
3. `scope policy`
4. `create corefile <policy-name> <transfer-host-name> <policy-path> {disabled | enabled}`

5. commit-buffer

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope policy Example: vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	create corefile Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # create corefile EaCoreP12 P1 P2 /test enabled	コア ファイル ポリシーを作成します。 ポリシー名の最大文字数は 511 です。
ステップ 5	commit-buffer Example: vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、コア ファイル ポリシーを作成する例を示します。

```

vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # create corefile EaCoreP12 P1 P2 /test enabled
vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile #

```

コア ファイル ポリシーの削除

コア ファイル ポリシーを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **delete corefile** <policy-name>
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	delete corefile Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # delete corefile EaCoreP12	コア ファイル ポリシーを削除します。
ステップ5	commit-buffer Example: vnmc(policy-mgr) /org/policy * # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、コア ファイルを削除する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
```

■ コア ファイル ポリシーの使用

Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each such license is available at <http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php> and <http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php>

```

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr)# scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # delete corefile EaCoreP12
vnmc(policy-mgr) /org/policy* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy #

```

コア ファイル ポリシーの表示

コア ファイル ポリシーを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **show corefile**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	show corefile Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # show corefile	コア ファイル ポリシーを表示します。

例

次に、すべてのコア ファイル ポリシーをリスト形式で表示する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # show corefile

Core File Policy:
  Core File Policy Name: local
  Core File Transfer Host Name: nexthost
  Core File Policy Path: /test
  Core File Policy Admin State: Enabled

  Core File Policy Name: host
  Core File Transfer Host Name: nexthost
  Core File Policy Path: /test
  Core File Policy Admin State: Enabled
vnmc(policy-mgr) /org/policy #
```

障害ポリシーの使用

この項は、次の内容で構成されています。

- 「障害ポリシーの作成」 (P.6-5)
- 「障害ポリシーの削除」 (P.6-7)
- 「障害ポリシーの表示」 (P.6-8)

障害ポリシーの作成

障害ポリシーを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」 (P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **create faultpolicy** *<policy-name>* *<flap-interval>* {**delete** | **retain**} {*<number-of-days>* | **forever**}
{**disabled** | **enabled**}
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnm(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope policy Example: vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	create faultpolicy Example vnm(policy-mgr) /org/policy # create faultpolicy EaFaultPA13 10 retain forever enabled	障害ポリシーを作成します。 ポリシー名の最大文字数は 511 です。
ステップ 5	commit-buffer Example: vnm(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、EaFaultPA13 という名前の障害ポリシーを作成する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr)# scope org
```



```

vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # create faultpolicy EaFaultPA13 10 retain forever enabled
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy #

```

障害ポリシーの削除

障害ポリシーを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **delete faultpolicy** <policy-name>
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	delete faultpolicy Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # delete faultpolicy EaFaultPA13	障害ポリシーを削除します。
ステップ5	commit-buffer Example: vnmc(policy-mgr) /org/policy* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、sysfault という名前の障害ポリシーを削除する例を示します。

```

vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # delete faultpolicy EaFaultPA13
vnmc(policy-mgr) /org/policy* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy #

```

障害ポリシーの表示

障害ポリシーを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. connect policy-mgr
2. scope org
3. scope policy
4. show faultpolicy

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ3	scope policy Example: vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	show faultpolicy Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy # show faultpolicy	障害ポリシーを表示します。

例

次に、すべての障害ポリシーをリスト形式で表示する例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcc(policy-mgr)# scope org
vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcc(policy-mgr) /org/policy # show faultpolicy

Fault Policy:
  Fault Policy Name: default
  Fault Policy Clear Action: Retain
  Fault Policy Flap Interval (dd:hh:mm:ss): 00:00:00:10
  Fault Policy Retention Interval (dd:hh:mm:ss): 10:00:00:00
  Fault Policy Admin State: Enabled

  Fault Policy Name: EaFaultPA13
  Fault Policy Clear Action: Retain
  Fault Policy Flap Interval (dd:hh:mm:ss): 00:00:00:05
  Fault Policy Retention Interval (dd:hh:mm:ss): 100:00:00:00
  Fault Policy Admin State: Enabled
```

ログポリシーの使用

この項は、次の内容で構成されています。

- 「ログポリシーの作成」 (P.6-9)
- 「ログポリシーの削除」 (P.6-11)
- 「ログポリシーの表示」 (P.6-12)

ログポリシーの作成

ログポリシーを作成できます。

■ ログポリシーの使用

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **create log** <policy-name> <log-policy-backup-count> {crit | debug0 | debug1 | debug3 | debug4 | info | major | minor | warn} <log-policy-size>
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope policy Example: vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	create log Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # create log EaLogP13 9 crit 10000000	ログ ポリシーを作成します。 ポリシー名の最大文字数は 511 です。
ステップ 5	commit-buffer Example: vnmc(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、EaLogP13 という名前のログ ポリシーを作成する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
```

```
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
```

```
vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # create log EaLogP13 9 crit 1000000
vnmc(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/log #
```

ログポリシーの削除

障害ポリシーを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **delete log <policy-name>**
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。

■ ログポリシーの使用

	コマンド	目的
ステップ4	delete log Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy # delete log EaLogP13	ログポリシーを削除します。
ステップ5	commit-buffer Example: vnmcli(policy-mgr) /org/policy* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、EaLogP13 という名前のログポリシーを削除する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # delete log EaLogP13
vnmcli(policy-mgr) /org/policy* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy #
```

ログポリシーの表示

ログポリシーを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. connect policy-mgr
2. scope org
3. scope policy
4. show log

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnm(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	show log Example vnm(policy-mgr) /org/policy # show log	ログ ポリシーを表示します。

例

次に、すべてのログポリシーをリスト形式で表示する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr)# scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope policy
vnm(policy-mgr) /org/policy # show log

Logging Policy:
  Logging Policy Name: LogPA1
  Logging Policy Backup Count: 2
  Logging Policy Level: Debug1
  Logging Policy Size: 1000000
  Logging Policy Admin State: Enabled

  Logging Policy Name: LogPA2
  Logging Policy Backup Count: 1
  Logging Policy Level: Crit
  Logging Policy Size: 1000000
  Logging Policy Admin State: Enabled
vnm(policy-mgr) /org/policy #
```

syslog ポリシーの使用

この項は、次の内容で構成されています。

- 「syslog ポリシーの作成」 (P.6-14)
- 「syslog ポリシーの削除」 (P.6-15)
- 「syslog ポリシーの表示」 (P.6-16)

syslog ポリシーの作成

syslog ポリシーを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」 (P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. `connect policy-mgr`
2. `scope org`
3. `scope policy`
4. `create syslog <policy-name>`
5. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect policy-mgr</code> Example: <code>vnmc# connect policy-mgr</code>	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	<code>scope org</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr)# scope org</code>	組織モードを開始します。
ステップ3	<code>scope policy</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr) /org # scope policy</code>	ポリシー モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ4	create syslog Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy # create syslog EaSysPA13	syslog ポリシーを作成します。 ポリシー名の最大文字数は 511 です。
ステップ5	commit-buffer Example: vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、EaSysPA13 という名前のログ ポリシーを作成する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # create syslog EaSysPA13
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policysyslog #
```

syslog ポリシーの削除

syslog ポリシーを削除できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **delete syslog** <policy-name>
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope policy Example: vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	delete syslog Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy # delete syslog EaSysPA13	syslog ポリシーを削除します。
ステップ 5	commit-buffer Example: vnmcli(policy-mgr) /org/policy* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、EaSysPA13 という名前のログ ポリシーを削除する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr)# scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # delete syslog EaSysPA13
vnmcli(policy-mgr) /org/policy* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy #
```

syslog ポリシーの表示

syslog ポリシーを表示できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **show syslog**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	show syslog Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy # show syslog	syslog ポリシーを表示します。

例

次に、すべてのログ ポリシーをリスト形式で表示する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # show syslog

name: default
description: Syslog Service
name: EaSysPA13
```

■ syslog ポリシーの使用

```
description: Syslog Service  
vnmc(policy-mgr) /org/policy #
```



CHAPTER 7

コア ファイル ポリシー、障害ポリシー、ログ ポリシーの属性の設定

この章では、コア ファイル ポリシー、障害ポリシー、ログ ポリシーの属性に関する情報を示します。コア ファイル ポリシー、障害ポリシー、ログ ポリシーは属性の集合です。コア ファイル ポリシー、障害ポリシー、ログ ポリシーの属性を示します。

コア ファイル ポリシーの属性	障害ポリシーの属性	ログ ポリシーの属性
管理状態 :	管理状態	
説明 :	クリア処理 :	
ホスト名 :		
パス :		
ポート :		

属性の作成、イネーブル化、ディセーブル化、および設定の詳細については、以下から該当する項を参照してください。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「コア ファイル ポリシーの属性の設定」 (P.7-1)
- 「障害ポリシーの属性の設定」 (P.7-9)
- 「ログ ポリシーの属性の設定」 (P.7-17)

コア ファイル ポリシーの属性の設定

この項は、次の内容で構成されています。

- 「管理状態の設定」 (P.7-2)
- 「説明の設定」 (P.7-3)
- 「ホスト名の設定」 (P.7-5)
- 「パスの設定」 (P.7-6)
- 「ポートの設定」 (P.7-8)

管理状態の設定

管理状態を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope corefile** *<policy-name>*
5. **set adminstate** {disabled | enabled}
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope corefile Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope corefile EaCorePA10	コア ファイル モードを開始します。
ステップ5	set adminstate Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile # set adminstate enabled	管理状態を設定します。
ステップ6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理状態を設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope corefile EaCorePA10
vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile # set adminstate enabled
vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile #
```

説明の設定

説明を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope corefile** *<policy-name>*
5. **set descr** *<description>*
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnm(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope corefile Example vnm(policy-mgr) /org/policy # scope corefile EaCorePA10	コア ファイル モードを開始します。
ステップ5	set descr Example vnm(policy-mgr) /org/policy/corefile # set descr CoreFilePolicyAgent10	説明を設定します。
ステップ6	commit-buffer Example vnm(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、コア ポリシー EaCorePA10 に説明を追加する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr) # scope org
vnm(policy-mgr) # scope policy
vnm(policy-mgr) /org # scope corefile EaCorePA10
vnm(policy-mgr) /org/policy/corefile # set descr CoreFilePolicyAgent10
vnm(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer
vnm(policy-mgr) /org/policy/corefile #
```


ホスト名の設定

コア ファイル 転送ホスト名を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope corefile** *<policy-name>*
5. **set hostname** *<host-name>*
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope corefile Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope corefile EaCorePA10	コア ファイル モードを開始します。
ステップ5	set hostname Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile # set hostname policy10	ホスト名を設定します。
ステップ6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、コアファイル転送ホスト名を設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr)# scope policy
vnmc(policy-mgr) /org # scope corefile EaCorePA10
vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile # set hostname policy10
vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile #
```

パスの設定

コアファイルポリシーのパスを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope corefile** *<policy-name>*
5. **set path** *<core-file-policy-path>*
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope corefile Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope corefile EaCorePA10	コア ファイル モードを開始します。
ステップ5	set path Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy/corefile # set path /test	パスを設定します。 最大文字数は 512 です。
ステップ6	commit-buffer Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、コア ファイル ポリシーのパスを設定する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr)# scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org # scope corefile EaCorePA10
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/corefile # set path /test
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/corefile #
```

ポートの設定

コア ファイル ポリシーのポート番号を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope corefile <policy-name>**
5. **set port <port-number>**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope corefile Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope corefile EaCorePA10	コア ファイル モードを開始します。
ステップ5	set port Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile # set port 10	ポート番号を設定します。 有効な値の範囲は 1 ~ 65535 です。
ステップ6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、コア ファイル ポリシーのポート番号を設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org # scope corefile EaCorePA10
vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile # set port 10
vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/corefile #
```

障害ポリシーの属性の設定

この項は、次の内容で構成されています。

- 「管理状態の設定」 (P.7-9)
- 「クリア処理の設定」 (P.7-11)
- 「説明の設定」 (P.7-12)
- 「フラッシング間隔の設定」 (P.7-14)
- 「保持間隔の設定」 (P.7-15)

管理状態の設定

管理状態を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」 (P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope faultpolicy <policy-name>**

5. **set adminstate** {disabled | enabled}

6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnm(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope faultpolicy Example vnm(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12	faultpolicy モードを開始します。
ステップ5	set adminstate Example vnm(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set adminstate enabled	管理状態を設定します。
ステップ6	commit-buffer Example vnm(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、管理状態を設定する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr) # scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope policy
vnm(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12
vnm(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set adminstate enabled
```

```
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy #
```

クリア処理の設定

クリア処理を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope faultpolicy <policy-name>**
5. **set clearaction {delete | retain}**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope faultpolicy Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12	faultpolicy モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ5	set clearaction Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set clearaction retain	クリア処理を設定します。
ステップ6	commit-buffer Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

この例は、クリア処理を設定する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set clearaction retain
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy #
```

説明の設定

説明を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**

4. `scope faultpolicy <policy-name>`
5. `set descr <description>`
6. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect policy-mgr</code> Example: <code>vnmc# connect policy-mgr</code>	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	<code>scope org</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr)# scope org</code>	組織モードを開始します。
ステップ3	<code>scope policy</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr) /org # scope policy</code>	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	<code>scope faultpolicy</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12</code>	faultpolicy モードを開始します。
ステップ5	<code>set descr</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set descr FaultPolicy1</code>	説明を設定します。
ステップ6	<code>commit-buffer</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、障害ポリシー EaFaultPA12 に説明を追加する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12
```

```

vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set descr FaultPolicy1
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy #

```

フラッピング間隔の設定

障害ポリシーにフラッピング間隔を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope faultpolicy <policy-name>**
5. **set flapinterval <interval>**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope faultpolicy Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12	faultpolicy モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ5	set flapinterval Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set flapinterval 00:00:10:00	フラッピング間隔を設定します。
ステップ6	commit-buffer Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、障害ポリシーのフラッピング間隔を 10 分に設定する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set flapinterval 00:00:10:00
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy #
```

保持間隔の設定

障害ポリシーに保持間隔を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**

4. `scope faultpolicy <policy-name>`
5. `set retentioninterval {0-4294967295 | forever}`
6. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect policy-mgr</code> Example: <code>vnmc# connect policy-mgr</code>	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	<code>scope org</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr) # scope org</code>	組織モードを開始します。
ステップ3	<code>scope policy</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr) /org # scope policy</code>	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	<code>scope faultpolicy</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12</code>	faultpolicy モードを開始します。
ステップ5	<code>set retentioninterval</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set retentioninterval 10:00:00:00</code>	保持間隔を設定します。
ステップ6	<code>commit-buffer</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、障害ポリシーの保持間隔を 10 日に設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope faultpolicy EaFaultPA12
```

```

vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy # set retentioninterval 10:00:00:00
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/faultpolicy #

```

ログ ポリシーの属性の設定

この項は、次の内容で構成されています。

- 「バックアップ カウントの設定」 (P.7-17)
- 「説明の設定」 (P.7-18)
- 「レベルの設定」 (P.7-20)
- 「サイズの設定」 (P.7-21)

バックアップ カウントの設定

ログ ポリシーにバックアップ カウントを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」 (P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. `connect policy-mgr`
2. `scope org`
3. `scope policy`
4. `scope log <policy-name>`
5. `set backup-count {1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9}`
6. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect policy-mgr</code> Example: <code>vnmc# connect policy-mgr</code>	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	<code>scope org</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr)# scope org</code>	組織モードを開始します。

■ ログポリシーの属性の設定

	コマンド	目的
ステップ3	scope policy Example: vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope log Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ5	set backup-count Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy/log # set backup-count 9	バックアップ カウントを設定します。
ステップ6	commit-buffer Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、バックアップ カウントを設定する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/log # set backup-count 9
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/log #
```

説明の設定

ログ ポリシーに説明を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. `connect policy-mgr`
2. `scope org`
3. `scope policy`
4. `scope log <policy-name>`
5. `set descr <policy-description>`
6. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect policy-mgr</code> Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	<code>scope org</code> Example: vnm(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	<code>scope policy</code> Example: vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	<code>scope log</code> Example vnm(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ5	<code>set descr</code> Example vnm(policy-mgr) /org/policy/log # set descr LogPolicy11	説明を設定します。
ステップ6	<code>commit-buffer</code> Example vnm(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、説明を設定する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
```

■ ログポリシーの属性の設定

<http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php> and
<http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php>

```
vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11
vnmc(policy-mgr) /org/policy/log # set descr LogPolicy11
vnmc(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/log #
```

レベルの設定

ログポリシーにレベルを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope log <policy-name>**
5. **set level {critical | debug0 | debug1 | debug2 | debug3 | debug4 | info | major | minor | warning}**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example: vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope log Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ5	set level Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy/log # set level critical	レベルを設定します。
ステップ6	commit-buffer Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、レベルを設定する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/log # set level critical
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/log #
```

サイズの設定

ログ ポリシーにサイズを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope log <policy-name>**

5. `set size <size>`
6. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect policy-mgr</code> Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	<code>scope org</code> Example: vnm(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	<code>scope policy</code> Example: vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	<code>scope log</code> Example vnm(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11	ログ モードを開始します。
ステップ5	<code>set size</code> Example vnm(policy-mgr) /org/policy/log # set size 104857599	サイズを設定します。 有効な値の範囲は 1048576 ~ 104857600 です。
ステップ6	<code>commit-buffer</code> Example vnm(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、サイズを設定する例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr)# scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope policy
vnm(policy-mgr) /org/policy # scope log EaLogPA11
vnm(policy-mgr) /org/policy/log # set size 104857599
vnm(policy-mgr) /org/policy/log* # commit-buffer
vnm(policy-mgr) /org/policy/log #
```



CHAPTER 8

syslog ポリシーの属性の設定

この章では、syslog ポリシーおよび syslog ポリシー属性への説明の割り当てに関する情報を示します。syslog ポリシーは属性の集合です。次の 4 つの syslog ポリシー属性があります。

- **console** : コンソール属性を作成、イネーブル化、ディセーブル化、および設定できます。
- **file** : ファイル属性を作成、イネーブル化、ディセーブル化、および設定できます。
- **monitor** : モニタ属性を作成、イネーブル化、ディセーブル化、および設定できます。
- **remote destination** : リモート属性を作成、イネーブル化、ディセーブル化、および設定できます。

属性の作成、イネーブル化、ディセーブル化、および設定の詳細については、以下から該当する項を参照してください。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「[syslog ポリシーへの説明の割り当て](#)」 (P.8-1)
- 「[syslog アラートの送信](#)」 (P.8-3)
- 「[コンソール属性の使用](#)」 (P.8-4)
- 「[ファイル属性の使用](#)」 (P.8-10)
- 「[モニタ属性の使用](#)」 (P.8-16)
- 「[リモート宛先属性の使用](#)」 (P.8-23)

syslog ポリシーへの説明の割り当て

syslog ポリシーにポリシーの説明を割り当てることができます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」 (P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**

3. **scope policy**
4. **scope syslog** <policy-name>
5. **set descr** <policy-description>
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnm# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnm(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope policy Example vnm(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	scope syslog Example vnm(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ 5	set descr Example vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog # set descr syslogPolicy12	ポリシーの説明を設定します。 syslog ポリシーの説明に使用できる最大文字数は、512 です。
ステップ 6	commit-buffer Example vnm(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、説明 syslogPolicy12 を syslog ポリシー EaSysPA12 に割り当てる例を示します。

```
vnm# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnm(policy-mgr)# scope org
vnm(policy-mgr) /org # scope policy
vnm(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
```

```

vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set descr syslogPolicy12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #

```

syslog アラートの送信

syslog メッセージを送信できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. `connect policy-mgr`
2. `scope org`
3. `scope policy`
4. `scope syslog <policy-name>`
5. `send-syslog {alerts | critical | debugging | emergencies | errors | information | notifications | warnings} {syslog-message}`
6. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect policy-mgr</code> Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	<code>scope org</code> Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	<code>scope policy</code> Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	<code>scope syslog</code> Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ 5	send-syslog Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # send syslog critical	syslog メッセージを送信します。
ステップ 6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、syslog メッセージを送信する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # send-syslog critical
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

コンソール属性の使用

コンソール属性を作成します。作成してからイネーブルやディセーブルにすることができます。コンソール属性の設定も可能です。設定するときに、属性に重大度レベルを割り当てます。

この項は、次の内容で構成されています。

- 「コンソール属性の作成」 (P.8-4)
- 「コンソール属性のイネーブル化」 (P.8-6)
- 「コンソール属性のディセーブル化」 (P.8-7)
- 「コンソール属性の設定」 (P.8-9)

コンソール属性の作成

コンソール属性を作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog** <policy-name>
5. **create console**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope syslog Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ5	create console Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # create console	コンソールを作成します。
ステップ6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、コンソールを作成する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
```

```

Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

```

```

vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # create console
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog #

```

コンソール属性のイネーブル化

コンソール属性をイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **enable console**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ 3	scope policy Example vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	scope syslog Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ 5	enable console Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable console	コンソールをイネーブルにします。
ステップ 6	commit-buffer Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、コンソールをイネーブルにする例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcc(policy-mgr) # scope org
vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable console
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

コンソール属性のディセーブル化

コンソール属性をディセーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **disable console**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	scope syslog Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ 5	disable console Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable console	コンソールをディセーブルにします。
ステップ 6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、コンソール属性をディセーブルにする例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
```

```
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
```

```
vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable console
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

コンソール属性の設定

コンソール属性に重大度レベルを割り当てることができます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **set console level {alerts | critical | emergencies}**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	scope syslog Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ 5	set console level Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set console level critical	レベルを設定します。
ステップ 6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、レベルを設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set console level critical
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

ファイル属性の使用

ファイル属性を作成します。作成してからイネーブルやディセーブルにすることができます。ファイル属性の設定も可能です。設定するときに、属性に重大度レベル、名前、およびファイル サイズを割り当てます。

この項は、次の内容で構成されています。

- 「ファイルの作成」 (P.8-10)
- 「ファイルのイネーブル化」 (P.8-12)
- 「ファイルのディセーブル化」 (P.8-13)
- 「ファイルの設定」 (P.8-15)

ファイルの作成

ファイルを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog** <policy-name>
5. **create file**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope syslog Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ5	create file Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # create file	ファイルを作成します。
ステップ6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ファイルを作成する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
```

```

Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

```

```

vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # create file
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog #

```

ファイルのイネーブル化

ファイルをイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **enable file**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ 3	scope policy Example vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	scope syslog Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ 5	enable file Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable file	ファイルをイネーブルにします。
ステップ 6	commit-buffer Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ファイルをイネーブルにする例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcc(policy-mgr) # scope org
vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable file
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

ファイルのディセーブル化

ファイルをディセーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog** <policy-name>
5. **disable file**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	scope syslog Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ 5	disable file Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable file	ファイルをディセーブルにします。
ステップ 6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ファイルをディセーブルにする例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
```



```

http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable file
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #

```

ファイルの設定

ファイル属性に重大度レベル、名前、およびファイル サイズを割り当てることができます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **set file {level {alerts | critical | debugging | emergencies | errors | information | notifications | warnings} | name {file-name} [level {level {alerts | critical | debugging | emergencies | errors | information | notifications | warnings} | size <file-size>} | size <file-size> [level {level {alerts | critical | debugging | emergencies | errors | information | notifications | warnings} | size <file-size>}]}**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ 4	scope syslog Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ 5	set file level Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set file level alerts	ファイルを設定します。
ステップ 6	commit-buffer Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、ファイル属性の重大度レベルを `alerts` に設定する例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcc(policy-mgr)# scope org
vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set file level alerts
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

モニタ属性の使用

モニタ属性を作成します。作成してからイネーブルやディセーブルにすることができます。モニタ属性の設定も可能です。設定するときに、属性に重大度レベルを割り当てます。

この項は、次の内容で構成されています。

- 「モニタの作成」 (P.8-17)
- 「モニタのイネーブル化」 (P.8-18)
- 「モニタのディセーブル化」 (P.8-20)
- 「モニタの設定」 (P.8-21)

モニタの作成

モニタを作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **create monitor**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope syslog Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ5	create monitor Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # create monitor	モニタを作成します。
ステップ6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、モニタを作成する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr)# scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # create monitor
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

モニタのイネーブル化

モニタをイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **enable monitor**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	connect policy-mgr Example: vnmcli# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	scope org Example: vnmcli(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ3	scope policy Example vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ4	scope syslog Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ5	enable monitor Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable monitor	モニタをイネーブルにします。
ステップ6	commit-buffer Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、モニタを作成する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(policy-mgr)# scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable monitor
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

モニタのディセーブル化

モニタをイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**
5. **disable monitor**
6. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope policy Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	scope syslog Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ 5	disable monitor Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable monitor	モニタをディセーブルにします。
ステップ 6	commit-buffer Example vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、モニタを作成する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable monitor
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

モニタの設定

モニタを設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
 2. **scope org**
 3. **scope policy**
 4. **scope syslog <policy-name>**
- set monitor level {alerts | critical | debugging | emergencies | errors | information | notifications | warnings}**
5. **commit-buffer**

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	connect policy-mgr Example: vnmcc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	scope org Example: vnmcc(policy-mgr)# scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	scope policy Example vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	scope syslog Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ 5	set monitor level Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set monitor level critical	モニタを設定します。
ステップ 6	commit-buffer Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、モニタを設定する例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcc(policy-mgr)# scope org
vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set monitor level critical
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```


リモート宛先属性の使用

この項は、次の内容で構成されています。

- 「リモート宛先の作成」 (P.8-23)
- 「リモート宛先のイネーブル化」 (P.8-24)
- 「リモート宛先のディセーブル化」 (P.8-26)
- 「リモート宛先の設定」 (P.8-27)

リモート宛先の作成

リモート宛先を作成できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」 (P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. `connect policy-mgr`
2. `scope org`
3. `scope policy`
4. `scope syslog <policy-name>`
5. `create remote-destination {server-1 | server-2 | server-3} <server-name>`
6. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ1	<code>connect policy-mgr</code> Example: <code>vnmc# connect policy-mgr</code>	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ2	<code>scope org</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr)# scope org</code>	組織モードを開始します。
ステップ3	<code>scope policy</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org # scope policy</code>	ポリシー モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ 4	scope syslog Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。
ステップ 5	create remote-destination Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # create remote-destination server-1 test	リモート宛先を作成します。
ステップ 6	commit-buffer Example vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット (保存) します。

例

次に、リモート宛先を作成する例を示します。

```
vnmcc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcc(policy-mgr)# scope org
vnmcc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog # create remote-destination server-1 test
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

リモート宛先のイネーブル化

リモート宛先をイネーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. connect policy-mgr

2. `scope org`
3. `scope policy`
4. `scope syslog <policy-name>`
5. `enable remote-destination {server-1 | server-2 | server-3}`
6. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>connect policy-mgr</code> Example: <code>vnmc# connect policy-mgr</code>	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<code>scope org</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr)# scope org</code>	組織モードを開始します。
ステップ 3	<code>scope policy</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org # scope policy</code>	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<code>scope syslog</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12</code>	syslog モードを開始します。
ステップ 5	<code>enable</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable remote-destination server-1</code>	リモート宛先をイネーブルにします。
ステップ 6	<code>commit-buffer</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer</code>	設定をコミット (保存) します。

例

次に、リモート宛先を作成する例を示します。

```

vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmc(policy-mgr)# scope org

```

```

vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable remote-destination server-1
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #

```

リモート宛先のディセーブル化

リモート宛先をディセーブルにできます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「[VNMC CLI の基本コマンド](#)」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. `connect policy-mgr`
2. `scope org`
3. `scope policy`
4. `scope syslog <policy-name>`
5. `disable remote-destination {server-1 | server-2 | server-3}`
6. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>connect policy-mgr</code> Example: vnmc# connect policy-mgr	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<code>scope org</code> Example: vnmc(policy-mgr) # scope org	組織モードを開始します。
ステップ 3	<code>scope policy</code> Example vnmc(policy-mgr) /org # scope policy	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<code>scope syslog</code> Example vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12	syslog モードを開始します。

	コマンド	目的
ステップ 5	disable Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # disable remote-destination server-1	リモート宛先をイネーブルにします。
ステップ 6	commit-buffer Example vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer	設定をコミット（保存）します。

例

次に、リモート宛先を作成する例を示します。

```
vnmcli# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

vnmcli(policy-mgr) # scope org
vnmcli(policy-mgr) /org # scope policy
vnmcli(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog # enable remote-destination server-1
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmcli(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```

リモート宛先の設定

リモート宛先を設定できます。

はじめる前に

VNMC CLI の基本情報については、「VNMC CLI の基本コマンド」(P.1-5) を参照してください。

CLI

ポリシー マネージャ

手順の概要

1. **connect policy-mgr**
2. **scope org**
3. **scope policy**
4. **scope syslog <policy-name>**

5. `set remote-destination {server-1 | server-2 | server-3} {facility {auth | authpriv | cron | daemon | ftp | kernel | local0 | local1 | local2 | local3 | local4 | local5 | local6 | local7 | lpr | mail | news | syslog | user | uucp} [hostname | level]} | hostname <host-name> [facility | level] | level {alerts | critical | debugging | emergencies | errors | information | notifications | warnings} [facility | hostname]}`
6. `commit-buffer`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>connect policy-mgr</code> Example: <code>vnmc# connect policy-mgr</code>	ポリシー マネージャ CLI を開始します。
ステップ 2	<code>scope org</code> Example: <code>vnmc(policy-mgr) # scope org</code>	組織モードを開始します。
ステップ 3	<code>scope policy</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org # scope policy</code>	ポリシー モードを開始します。
ステップ 4	<code>scope syslog</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12</code>	syslog モードを開始します。
ステップ 5	<code>set remote-destination</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set remote-destination server-2 level critical</code>	リモート宛先を設定します。
ステップ 6	<code>commit-buffer</code> Example <code>vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer</code>	設定をコミット（保存）します。

例

次に、リモート宛先を設定する例を示します。

```
vnmc# connect policy-mgr
Cisco Virtual Network Management Center
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
```

```
vnmc(policy-mgr) # scope org
vnmc(policy-mgr) /org # scope policy
vnmc(policy-mgr) /org/policy # scope syslog EaSysPA12
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog # set remote-destination server-2 level critical
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog* # commit-buffer
vnmc(policy-mgr) /org/policy/syslog #
```




INDEX

C

copy [2-11](#)
create console [8-5](#)
create corefile [6-1](#)
create faultpolicy [6-6](#)
create file [8-11](#)
create log [6-10](#)
create monitor [8-17](#)
create remote-destination [8-23](#), [8-24](#), [8-26](#)
create syslog [6-14](#)

D

delete [2-12](#)
delete corefile [6-3](#)
delete faultpolicy [6-7](#)
delete log [6-11](#)
delete syslog [6-15](#)
dir [2-13](#)
disable console [8-8](#)
disable file [8-14](#)
disable monitor [8-20](#)

E

enable console [8-6](#)
enable file [8-12](#)
enable monitor [8-18](#)

M

modify shared-secret [2-14](#)

R

reboot [2-1](#)

S

send-syslog [8-3](#)
service reinit [2-6](#)
service restart [2-7](#)
service start [2-8](#)
service status [2-9](#)
service stop [2-10](#)
set console level [8-9](#)
set descr [8-1](#)
set file [8-15](#)
set hostname [2-3](#)
set monitor level [8-21](#)
set net gw [2-16](#)
set net ip [2-15](#)
set net netmask [2-17](#)
show cli [2-22](#)
show clock [2-22](#)
show corefile [6-4](#)
show faultpolicy [6-8](#)
show fsm [2-27](#)
show log [6-12](#)
show network-interface [2-23](#)
show providers [2-21](#)
show syslog [6-17](#)
show system [2-24](#)
show tech-support [2-26](#)
show version [2-25](#)

T

terminal length [2-19](#)
terminal session-timeout [2-19](#)

U

update [2-2](#)

か

概要

CLI [1-2](#)

VNMC [1-1](#)

関連資料 [xi](#)

こ

コマンド

reboot [2-1](#)

set hostname [2-3](#)

update [2-2](#)

ふ

復元 [2-4](#)

ま

マニュアル

その他の資料 [xi](#)
